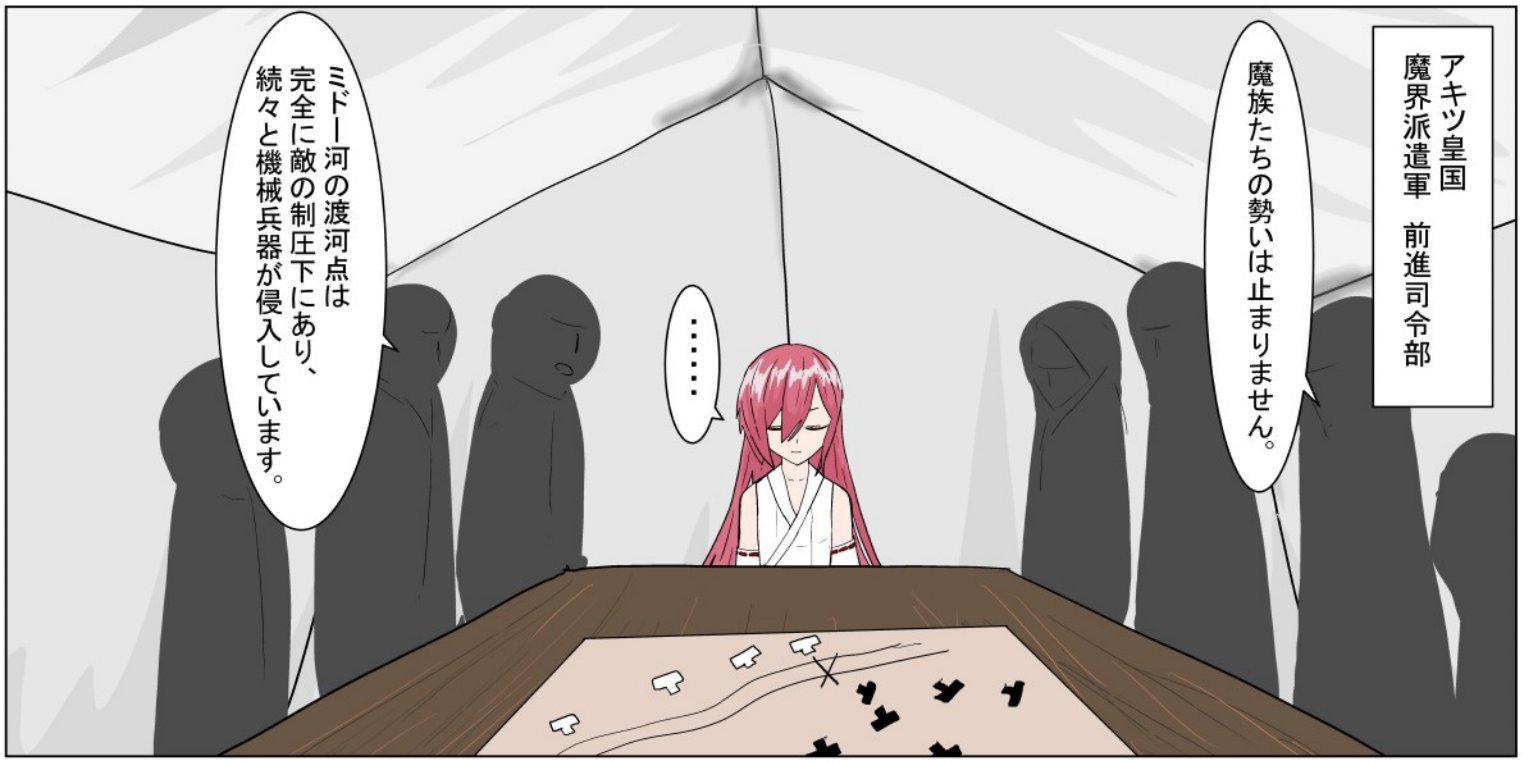
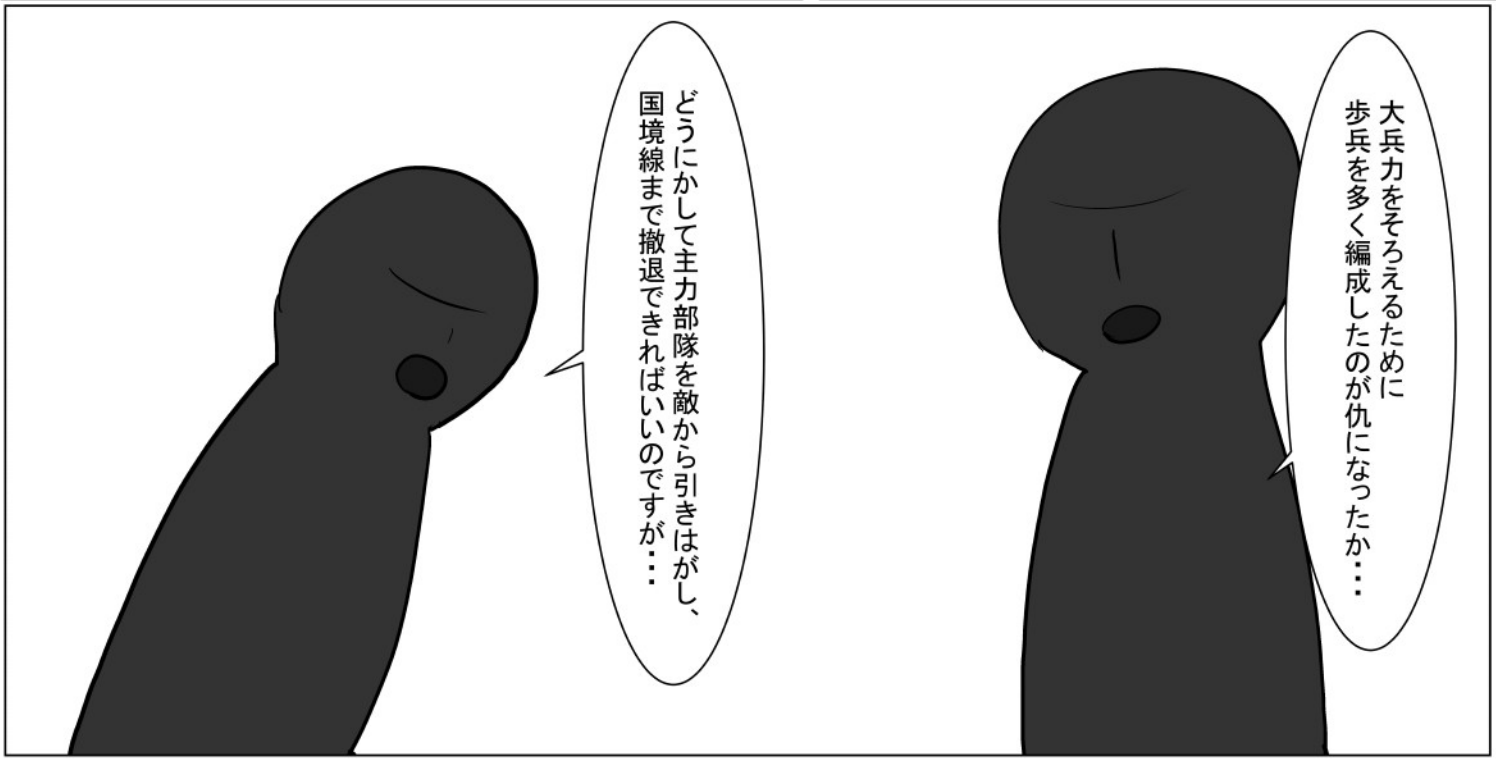

魔王様と
小さな寵姫ちゃん
18禁示


アキツ皇国
魔界派遣軍　前進司令部
魔族たちの勢いは止まりません。
……
ミドー河の渡河点は
完全に敵の制圧下にあり、
続々と機械兵器が侵入しています。

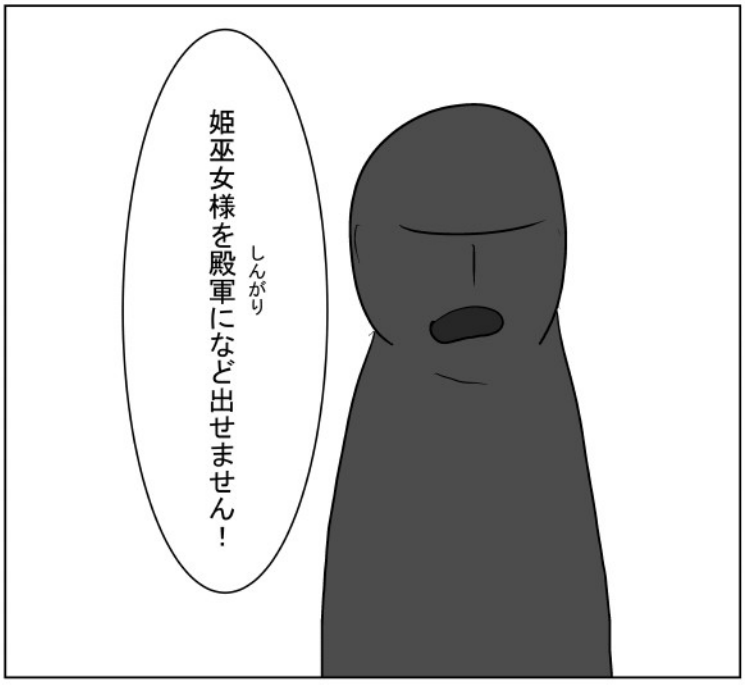

我が軍の歩兵では全くの力不足です。
生身の魔物ならともかく、
鉄製の車には歯が立ちません。


有効打を加えられるのは
現状、魔術師達の部隊のみですが…
魔術師たちは真っ先に
敵の攻撃目標にされており、
損害が拡大中です。


大兵力をそろえるために
歩兵を多く編成したのが仇になったか…
どうにかして主力部隊を敵から引きはがし、
国境線まで撤退できればいいのですが…


私が出ます。
敵の追撃部隊は私が足止めします。
できるだけ時間を稼ぐので、
皆は兵士たちを連れて撤退を。
スッ


そっ・・・
そんなっ！
姫様に！


姫巫女様を殿軍（しんがり）になど出せません！

そうですね。
無事に国に戻っても・・・
きっと・・・

「巫女を囮にして逃げおおせた」と、
心無い者たちは
嫌味を言うでしょうね。

それはあなた方にとって
耐え難いことかもしれません。

でも、
軍人の役目は国を守ることです。

今ここで、
全員が見事に玉砕を遂げたら、
それで国が守れますか？

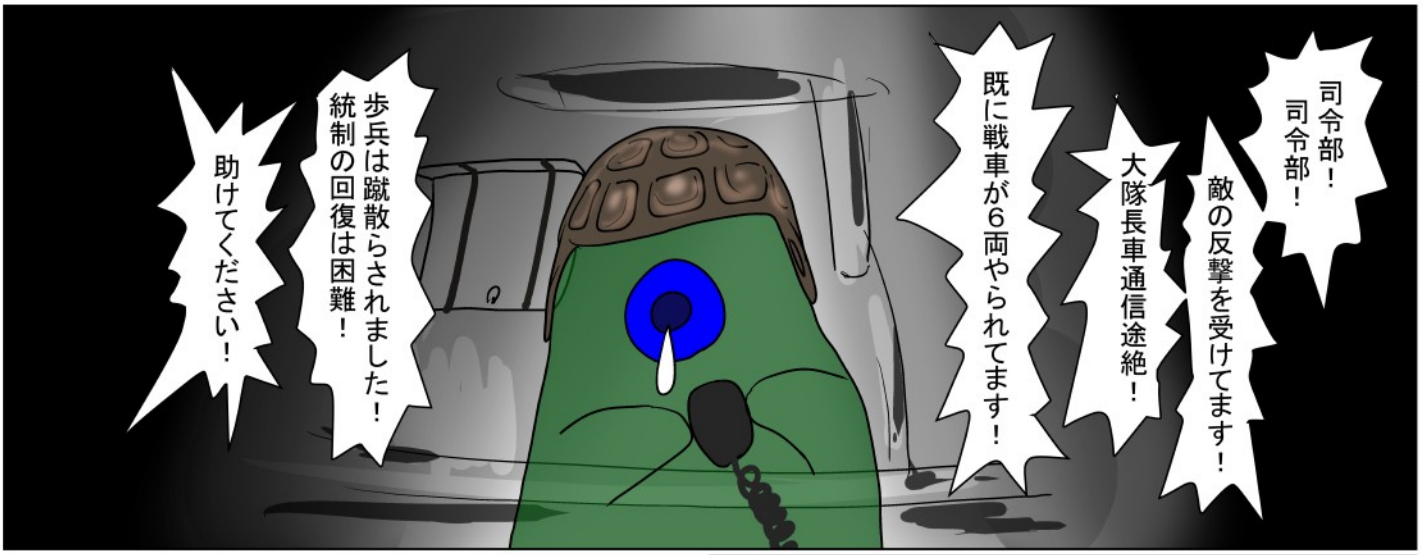
巫女を見捨てたとの汚名を着てでも、
できるだけ多くの戦力を
維持し続けることが重要なのです。

そんなに悲しそうな顔しないでください。
別に死にに行くわけじゃないですよ？

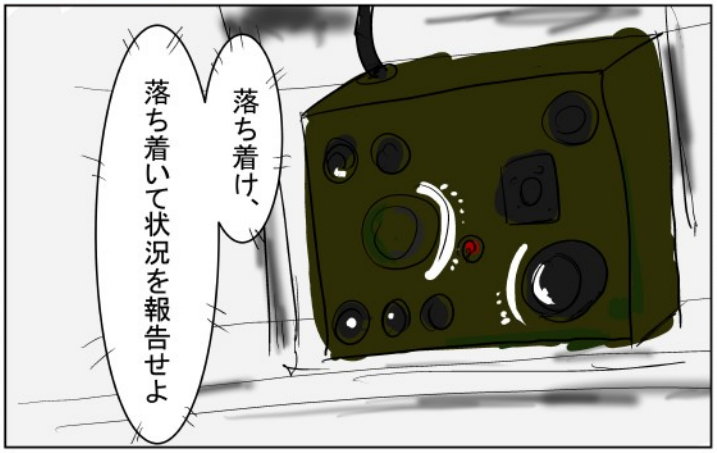
皆さんも知っているでしょう？

私、強いんですよ。

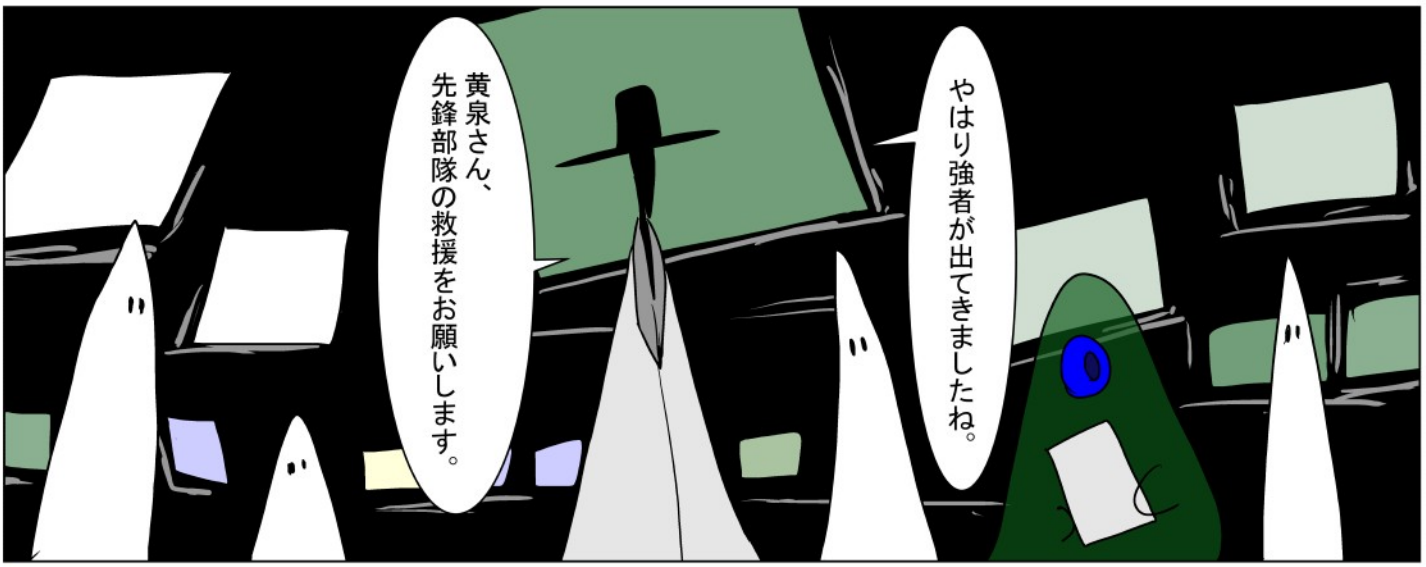

魔導帝国軍　先鋒
第４機甲軍
第４０１装甲戦闘団
回り込まれた！
４号車！
８時方向！
ドカッ
ズバン!!
ヒュバッ


司令部！
司令部！
敵の反撃を受けてます！
大隊長車通信途絶！
既に戦車が6両やられてます！
歩兵は蹴散らされました！
統制の回復は困難！
助けてください！

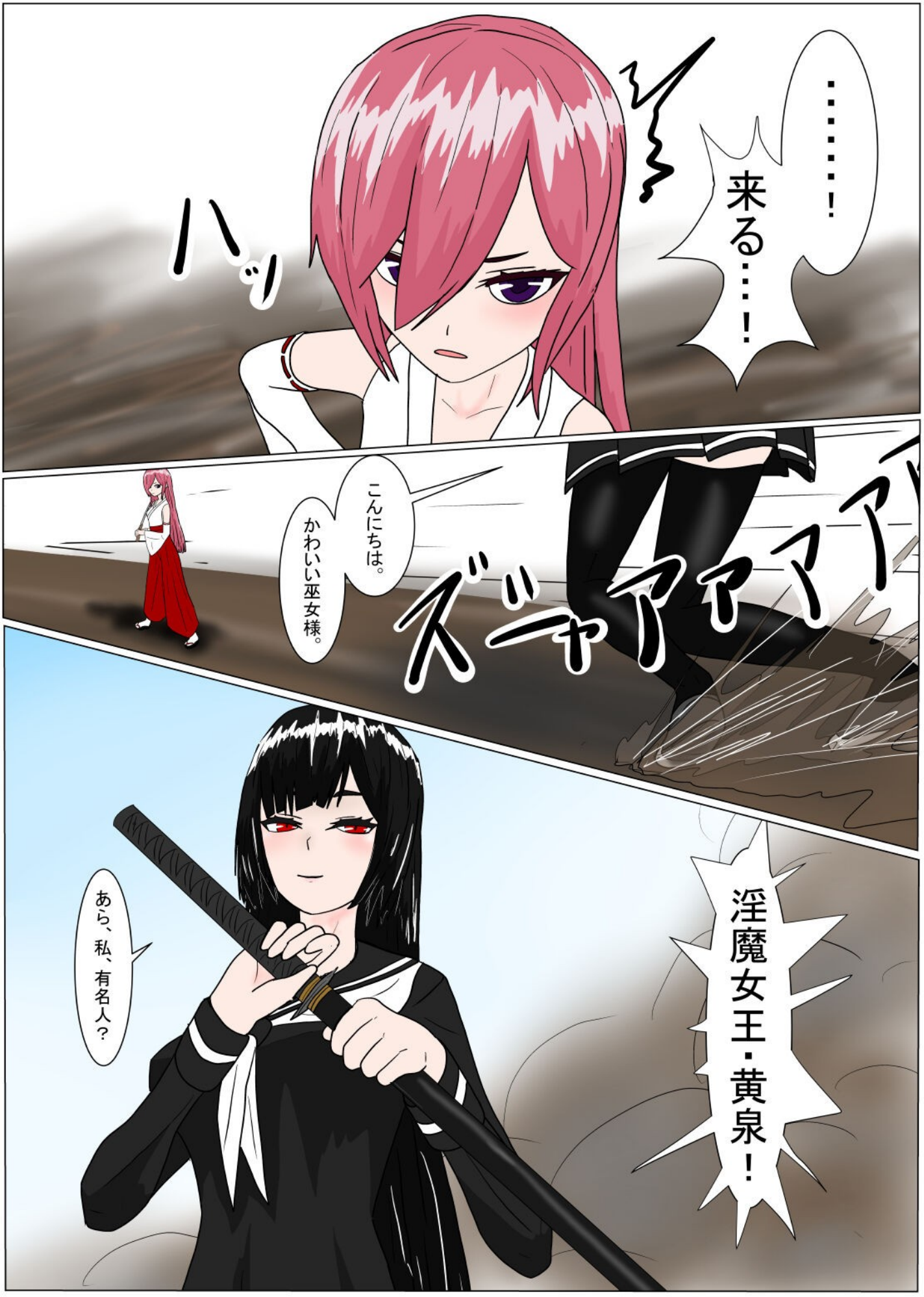

敵戦力の規模は
どれくらいか？


落ち着け、
落ち着いて状況を報告せよ


シュオオオ
敵は1人だ！
恐ろしく強い！

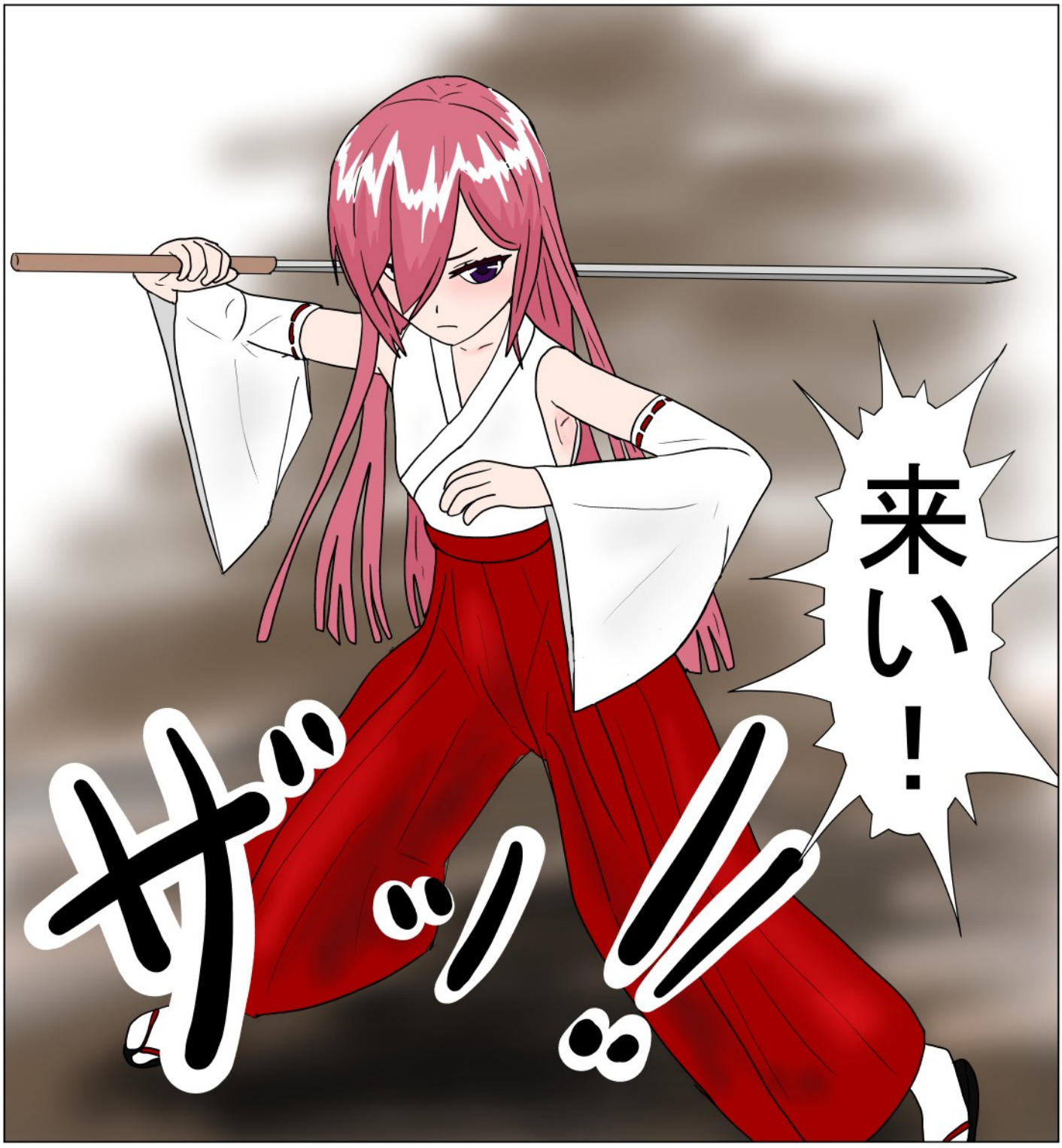

やはり強者が出てきましたね。
黄泉さん、先鋒部隊の救援をお願いします。


しょうがないなぁ・・・
いっちょやってやりますか。


……！
来る……！
ハッ
こんにちは。
かわいい巫女様。
ズヴァアアアア
淫魔女王・黄泉！
あら、私、有名人？


まさかたった1人で
装甲部隊を蹴散らすなんて・・・
巫女様はまだ小さいのに
とっても強いんですね。
でも、
あんまり好き勝手に暴れられると
私たちも困っちゃうんですよ。

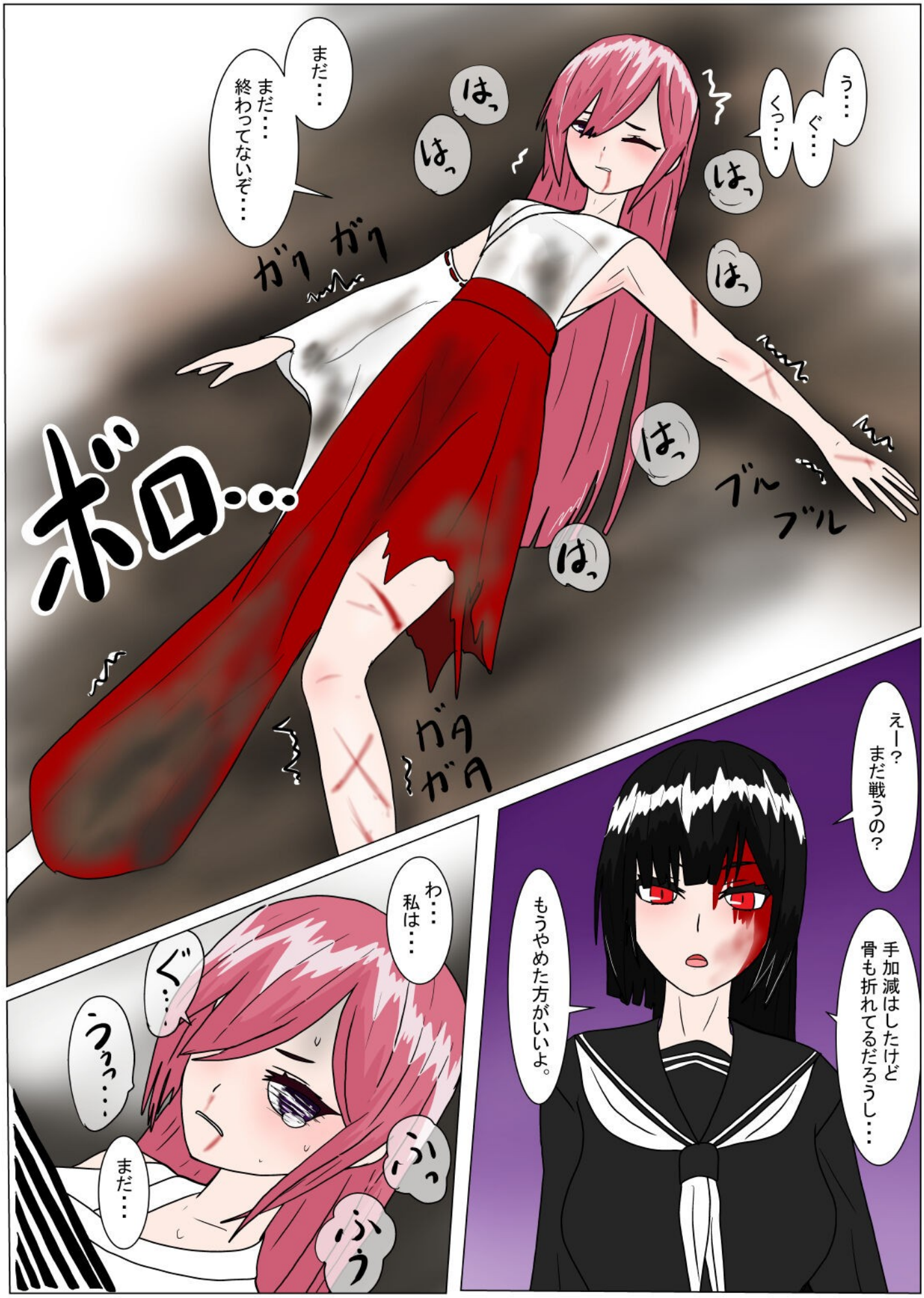

だからちょっとだけ・・・
お仕置きしちゃうぞ♡

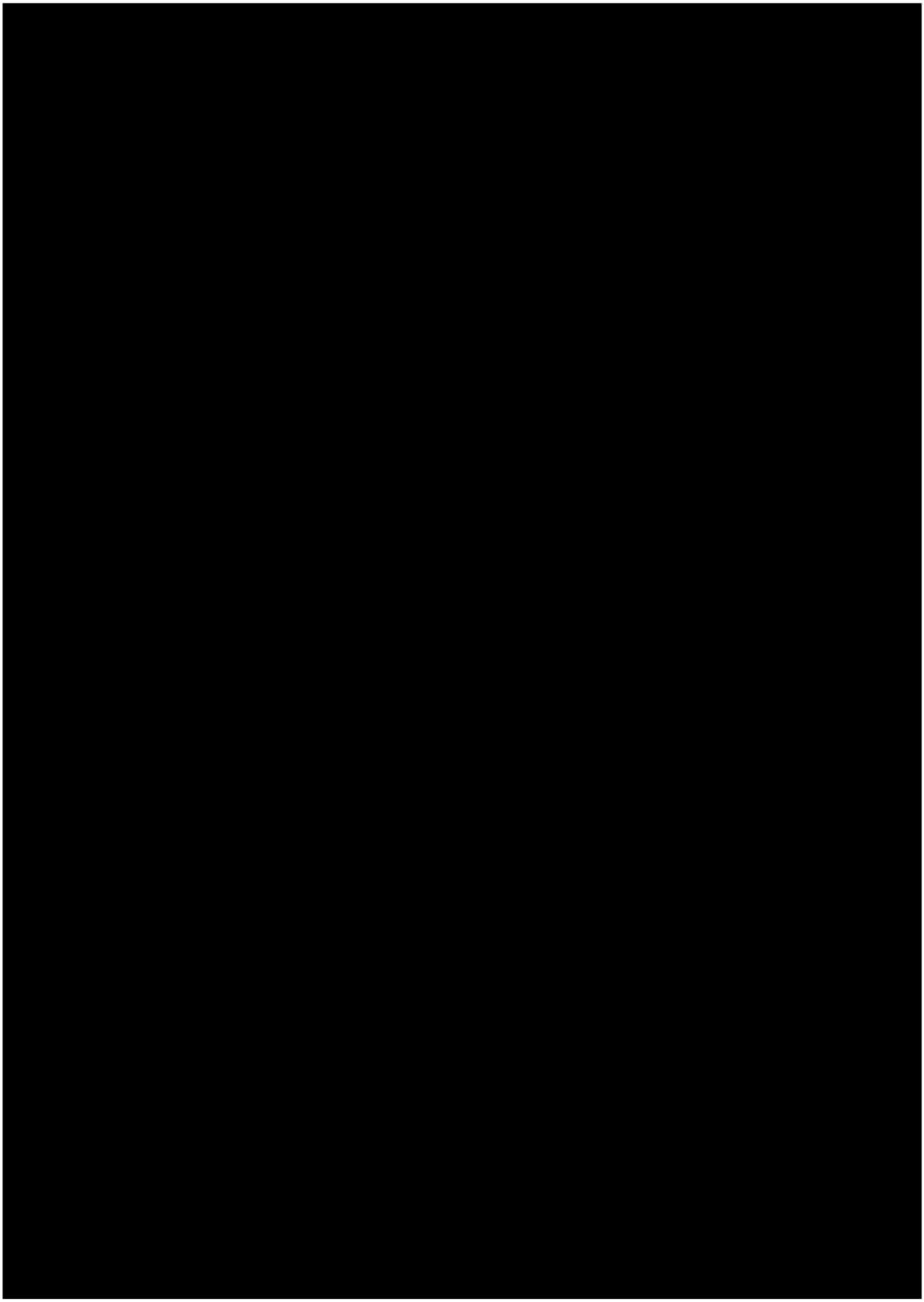

来い！
ザッ

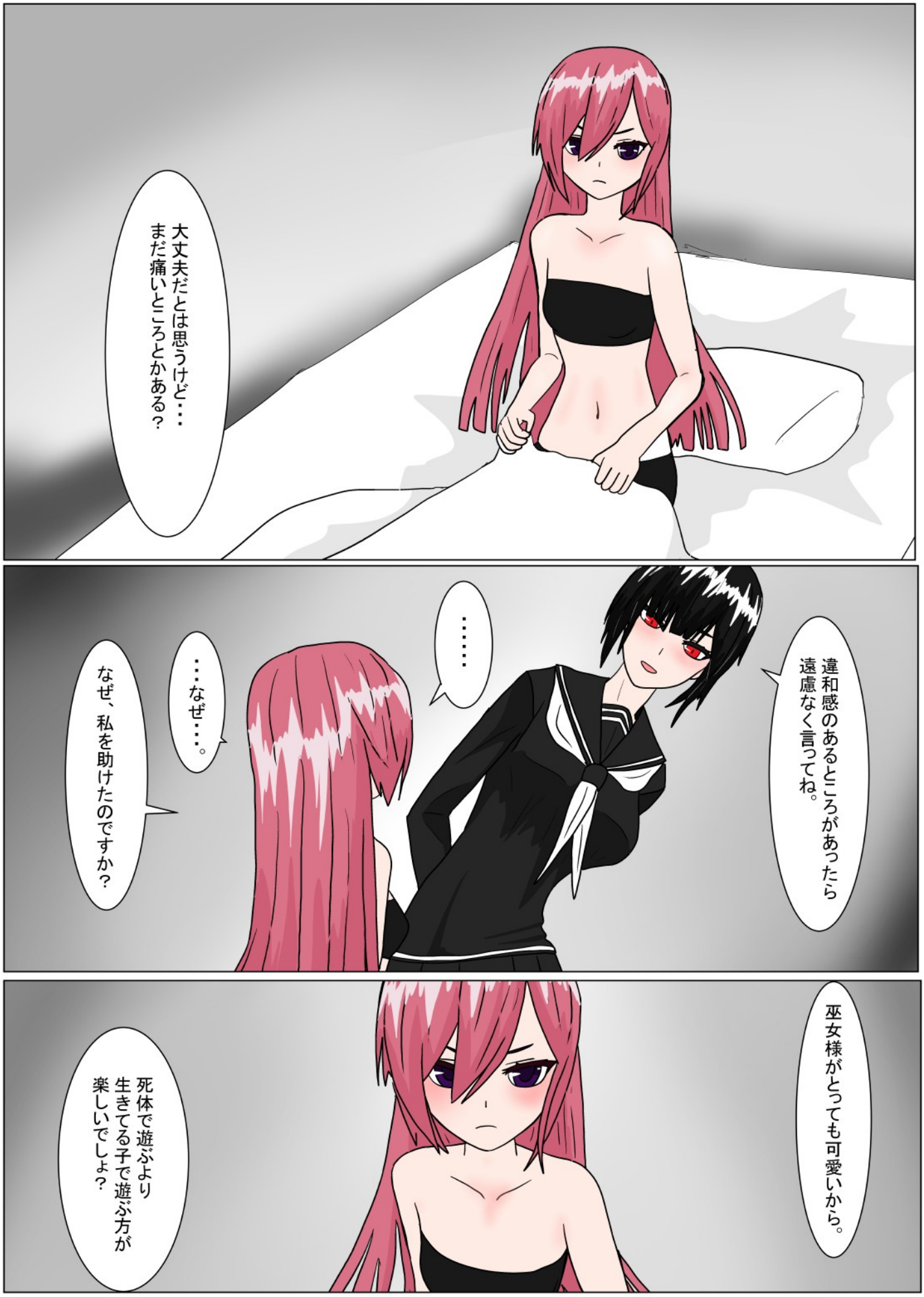

あーあ…
ゴシゴシ
巫女様、
めちゃくちゃ強いじゃん…

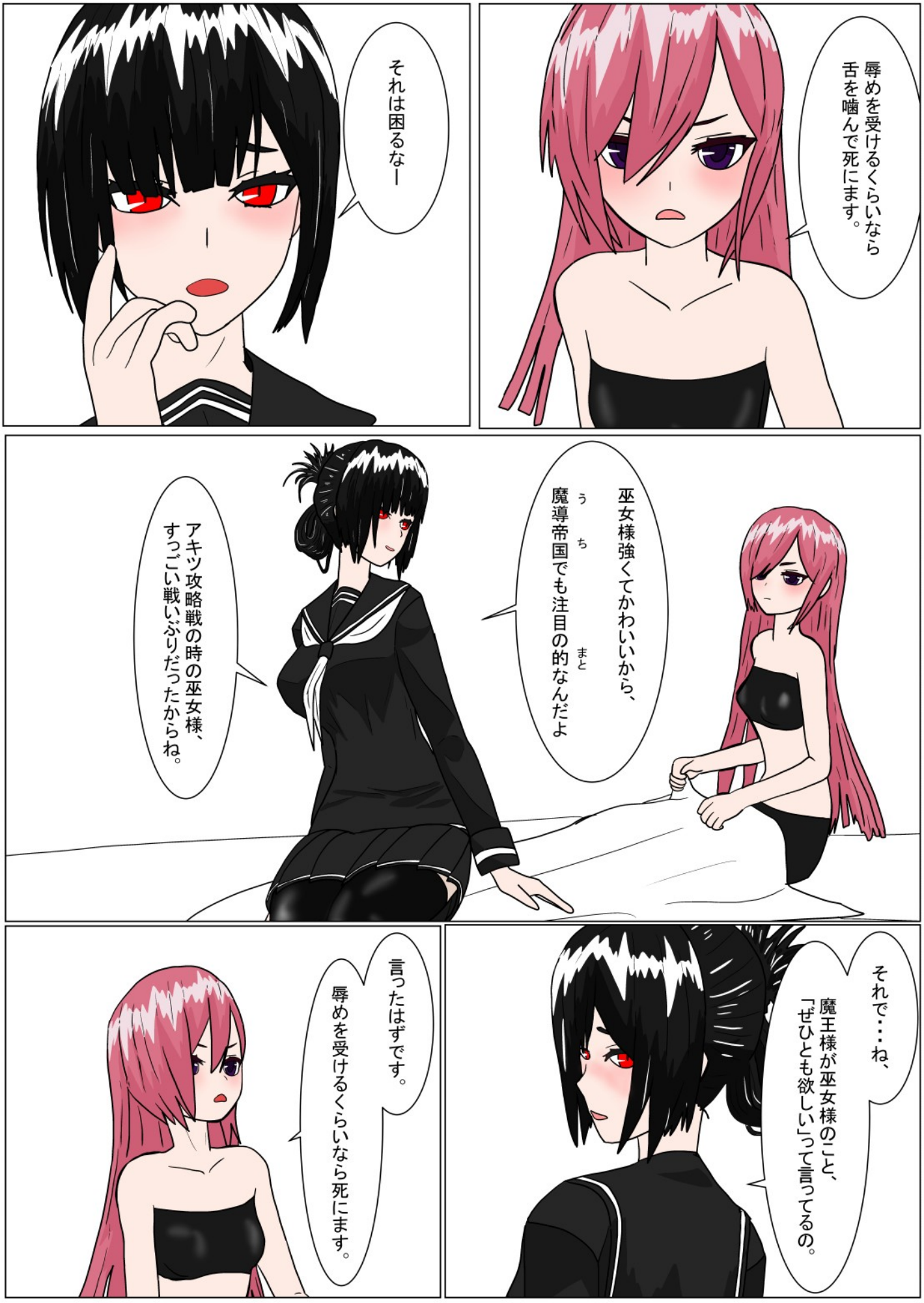

弱小国だと思ってたけど…
こんな強いのもいるもんなんだね。


ちょっとびっくりしたかも。


う…
ぐ…
くっ…
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
まだ…
まだ…
終わってないぞ…
ガク ガク
ボロ…
ブル ブル
ガタ ガタ
えー？
まだ戦うの？
手加減はしたけど
骨も折れてるだろうし…
もうやめた方がいいよ。
わ…
私は…
ぐ…
うっ…
まだ…
ふっ
ふう

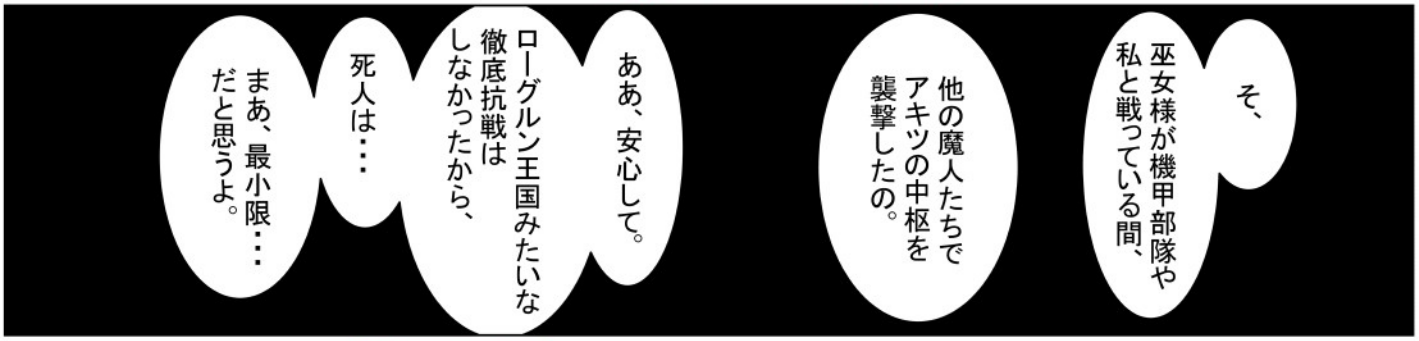



大丈夫だとは思うけど・・・
まだ痛いところとかある？
違和感のあるところがあったら
遠慮なく言ってね。
・・・・・・
・・・なぜ・・・。
なぜ、私を助けたのですか？
巫女様がとっても可愛いから。
死体で遊ぶより
生きてる子で遊ぶ方が
楽しいでしょ？


辱めを受けるくらいなら
舌を噛んで死にます。
それは困るなー
巫女様強くてかわいいから、
魔導帝国(うち)でも注目の的(まと)なんだよ
アキツ攻略戦の時の巫女様、
すっごい戦いぶりだったからね。
それで・・・ね、
魔王様が巫女様のこと、
「ぜひとも欲しい」って言ってるの。
言ったはずです。
辱めを受けるくらいなら死にます。


えー…
いいのかな？
巫女様次第で
全面降伏したアキツ皇国の処遇も
変わるかもしれないのに。

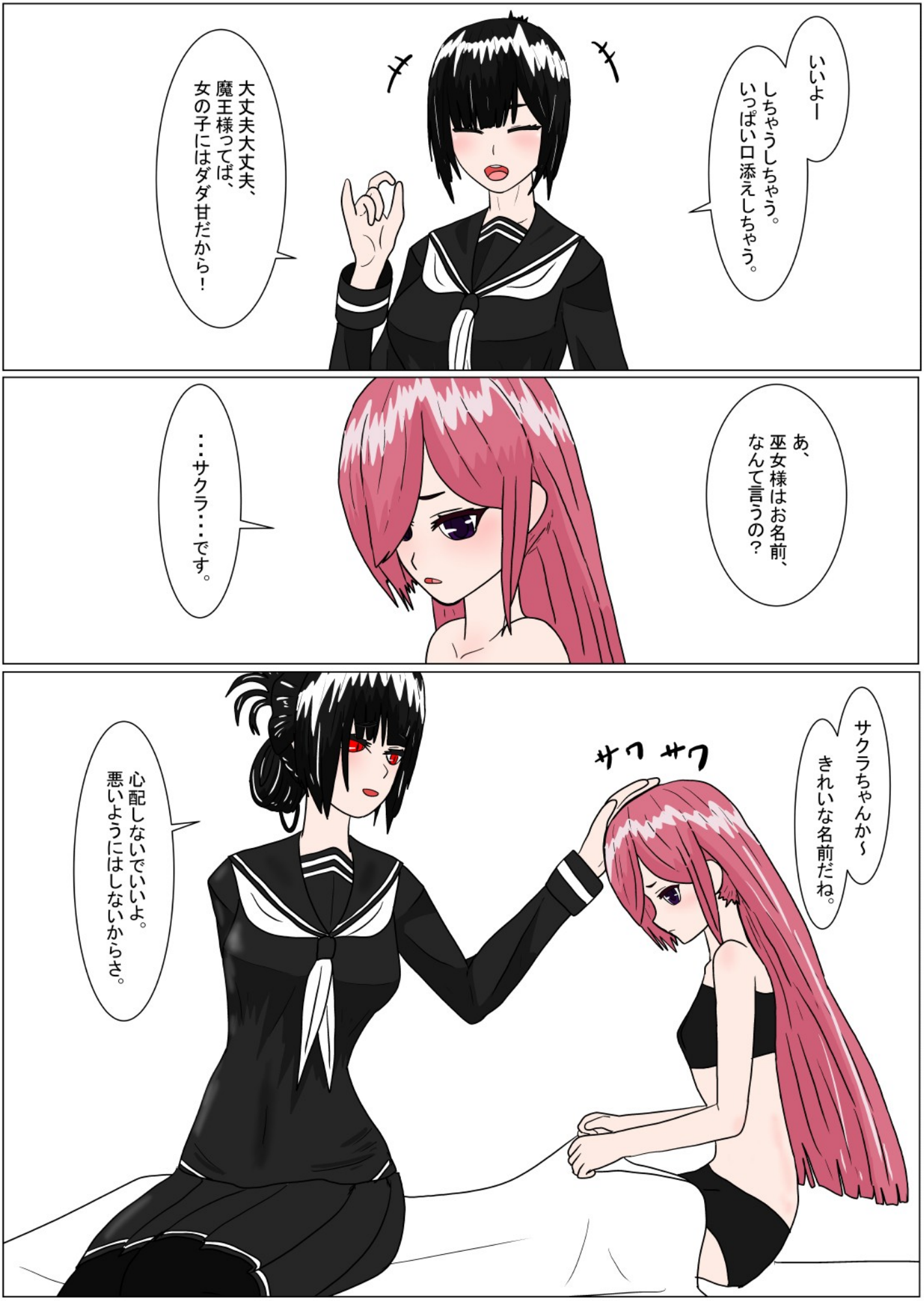

アキツが…
降伏…？

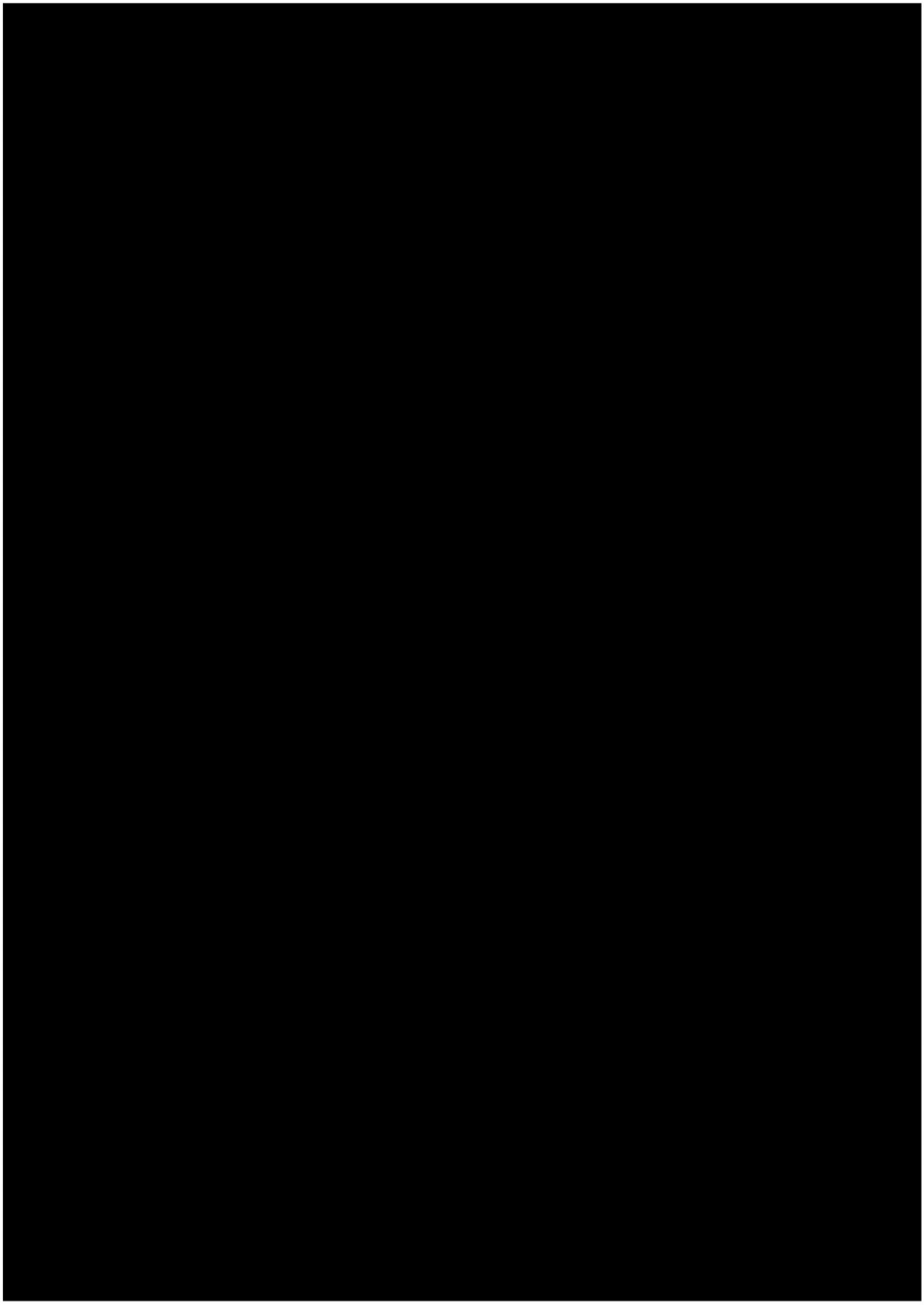

そ、
巫女様が機甲部隊や
私と戦っている間、
他の魔人たちで
アキツの中枢を
襲撃したの。
ああ、安心して。
ローグルン王国みたいな
徹底抗戦は
しなかったから、
死人は…
まあ、最小限…
だと思うよ。


で、降伏した以上、
あれやこれや、要求されたり
理不尽に奪われたり
するわけだけど…
巫女様が
魔王様のご機嫌を
取ることで…
アキツの人たちが
悲しまないで
済むかも…って。
……

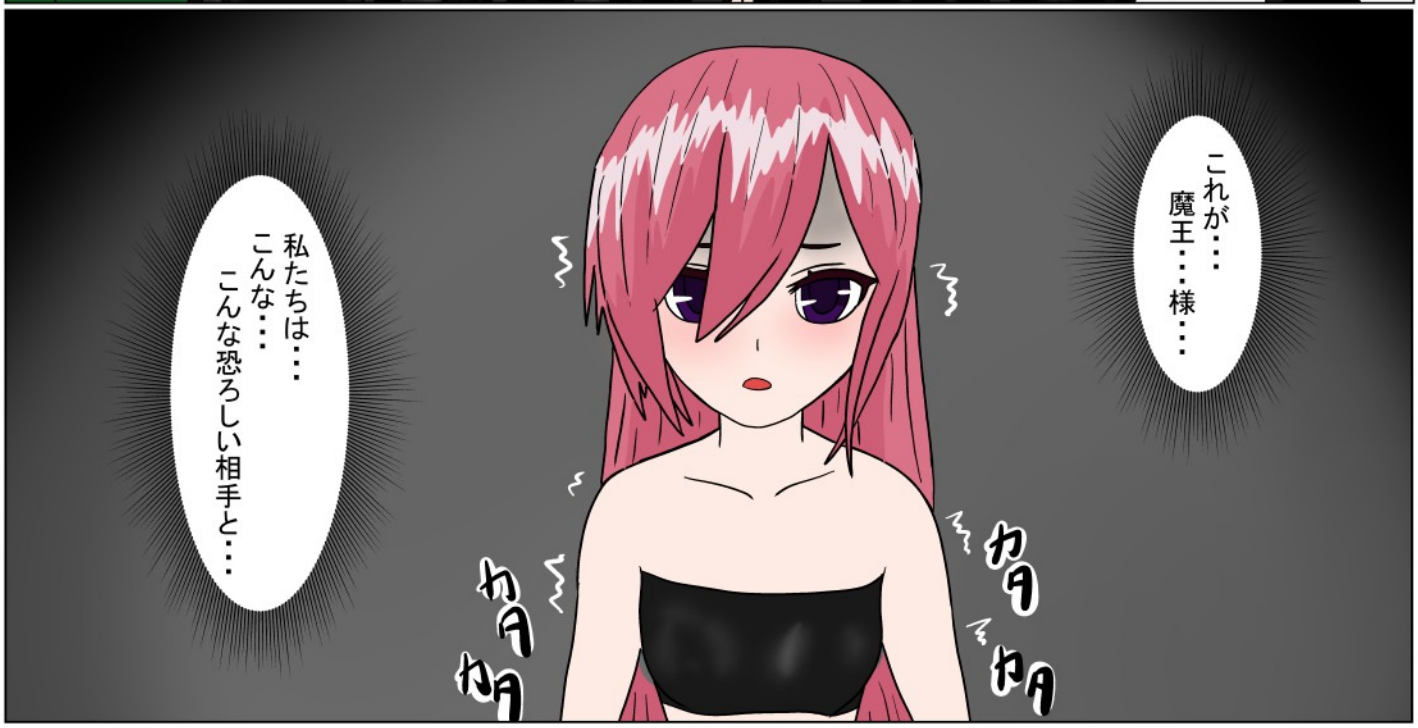

魔王様のものに…
愛妾になって…
くれるかな？
……

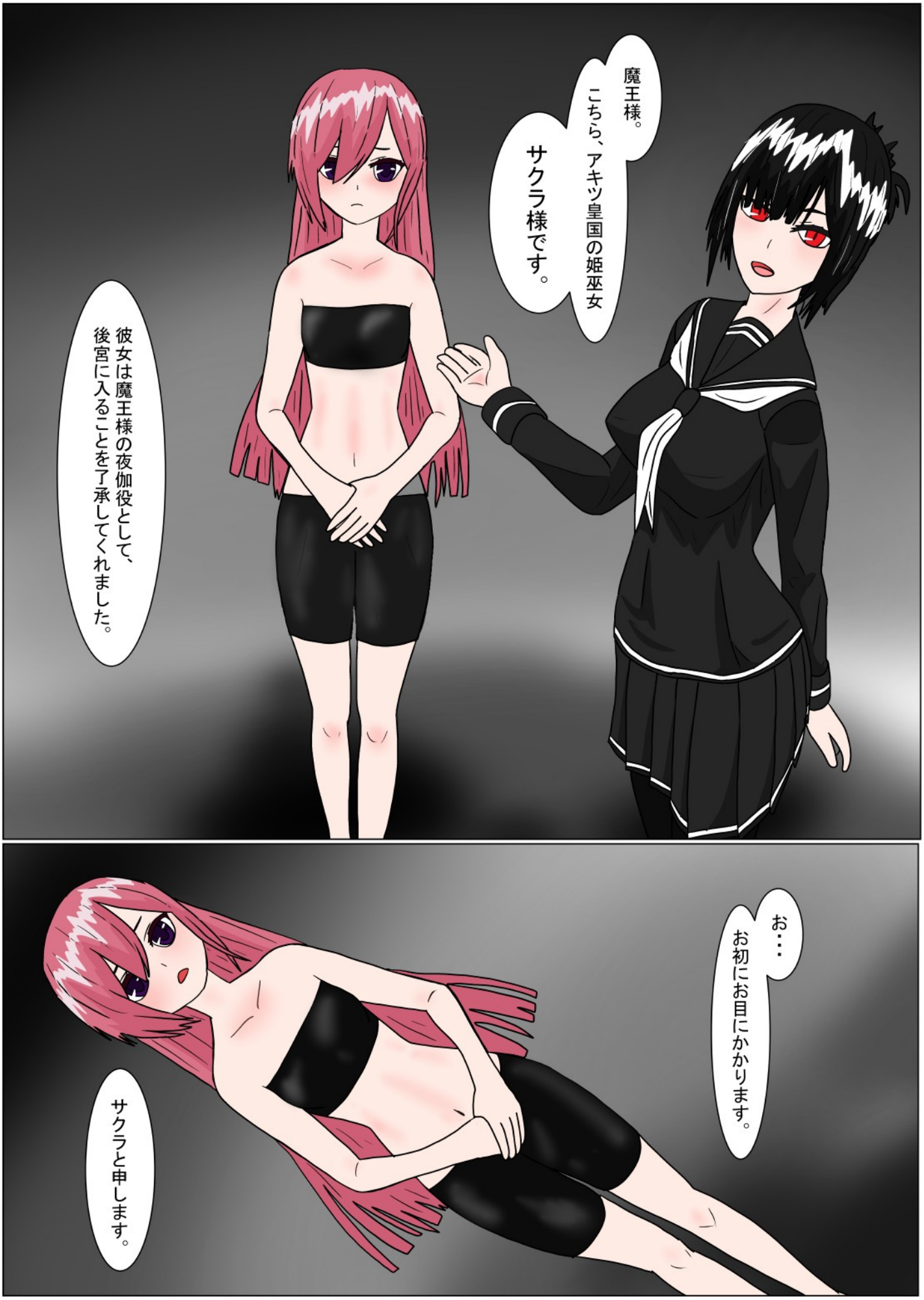

…わかり…ました。
その…
よみ…様…
黄泉様も…
アキツの処遇について…
魔王様にお口添え頂けますか？

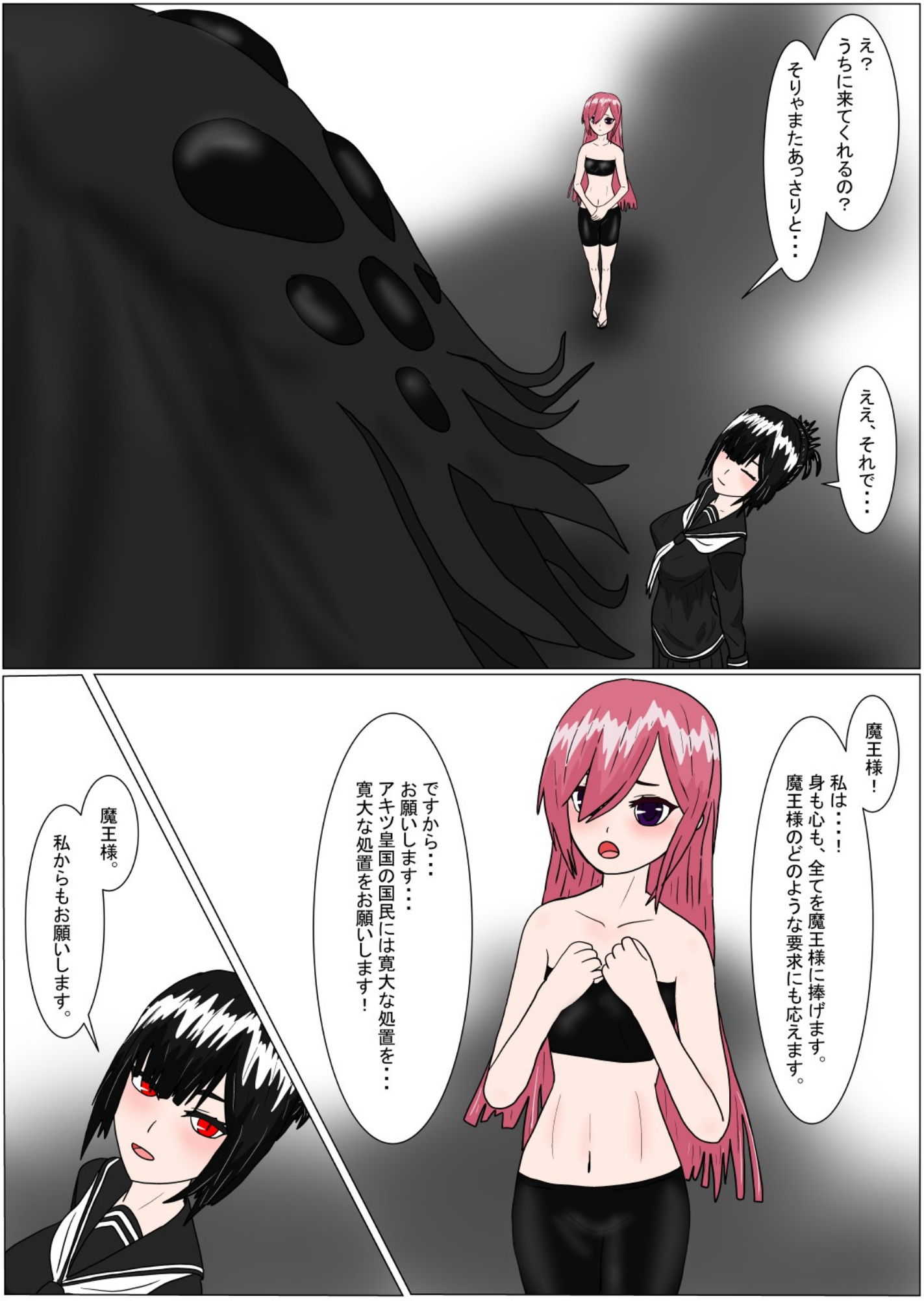

いいよー
しちゃうしちゃう。
いっぱい口添えしちゃう。
大丈夫大丈夫、
魔王様ってば、
女の子にはダダ甘だから！
あ、
巫女様はお名前、
なんて言うの？
・・・サクラ・・・です。
サクラちゃんか～
きれいな名前だね。
サワ サワ
心配しないでいいよ。
悪いようにはしないからさ。

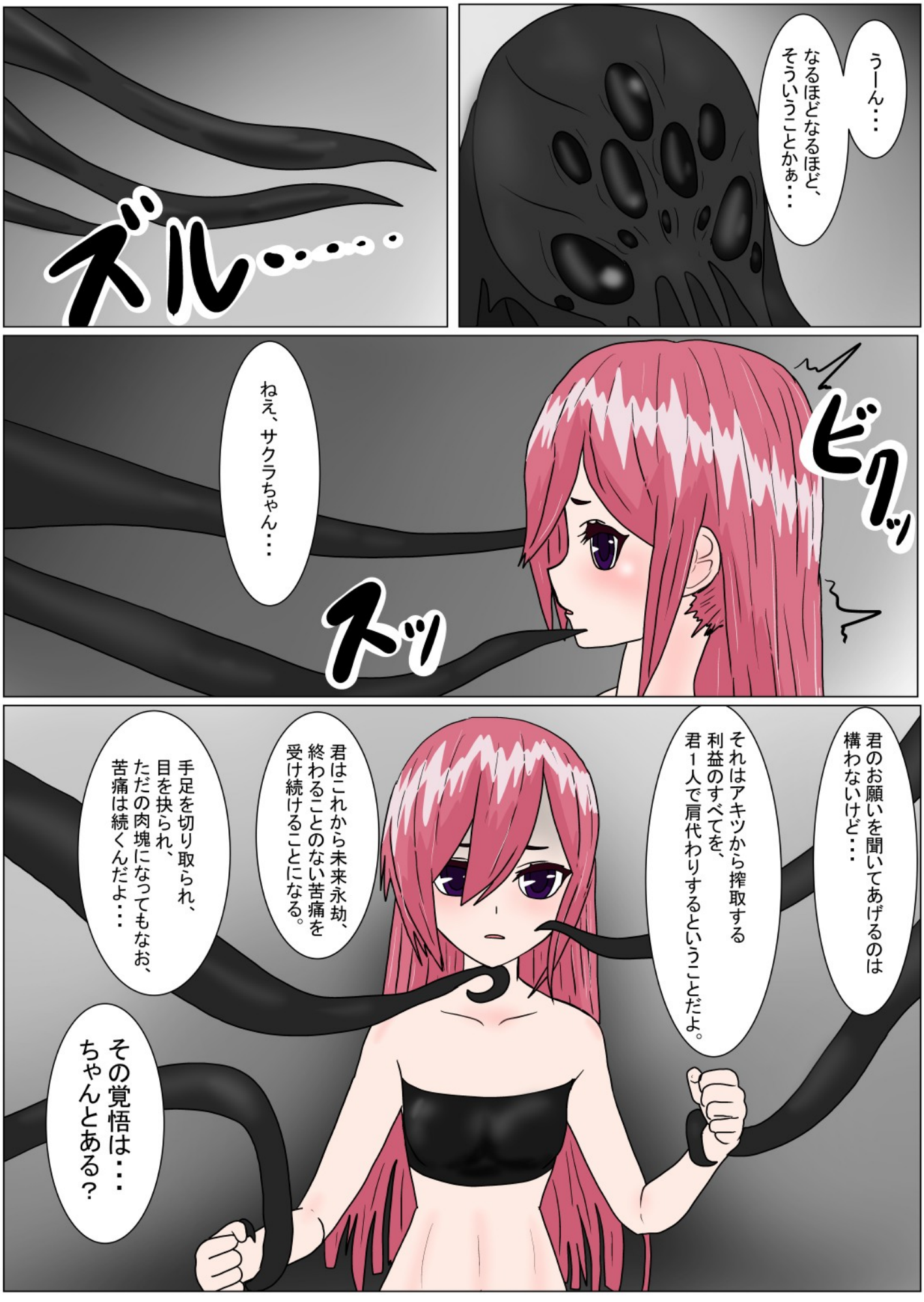


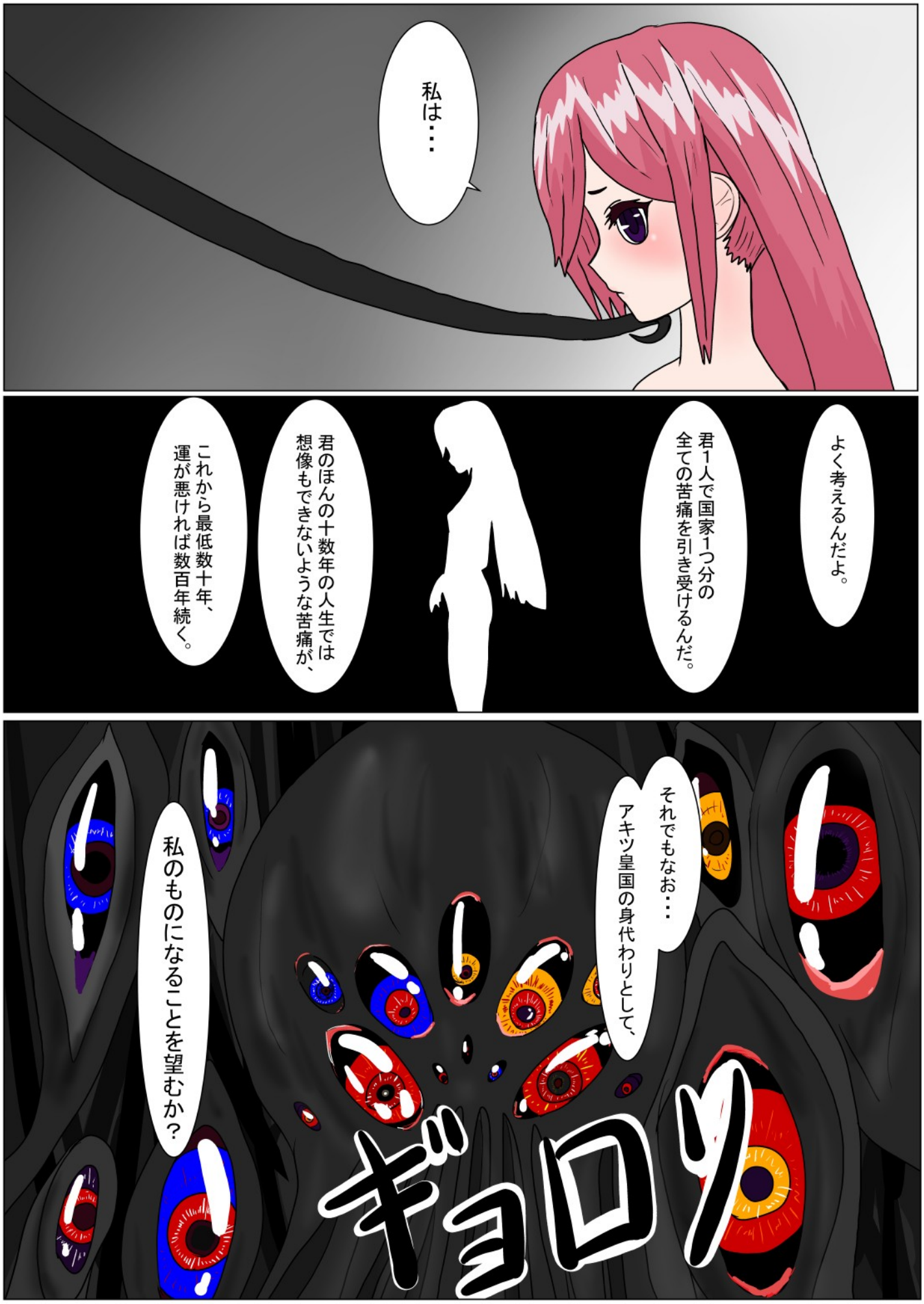

冬の宮殿
黒天玉座

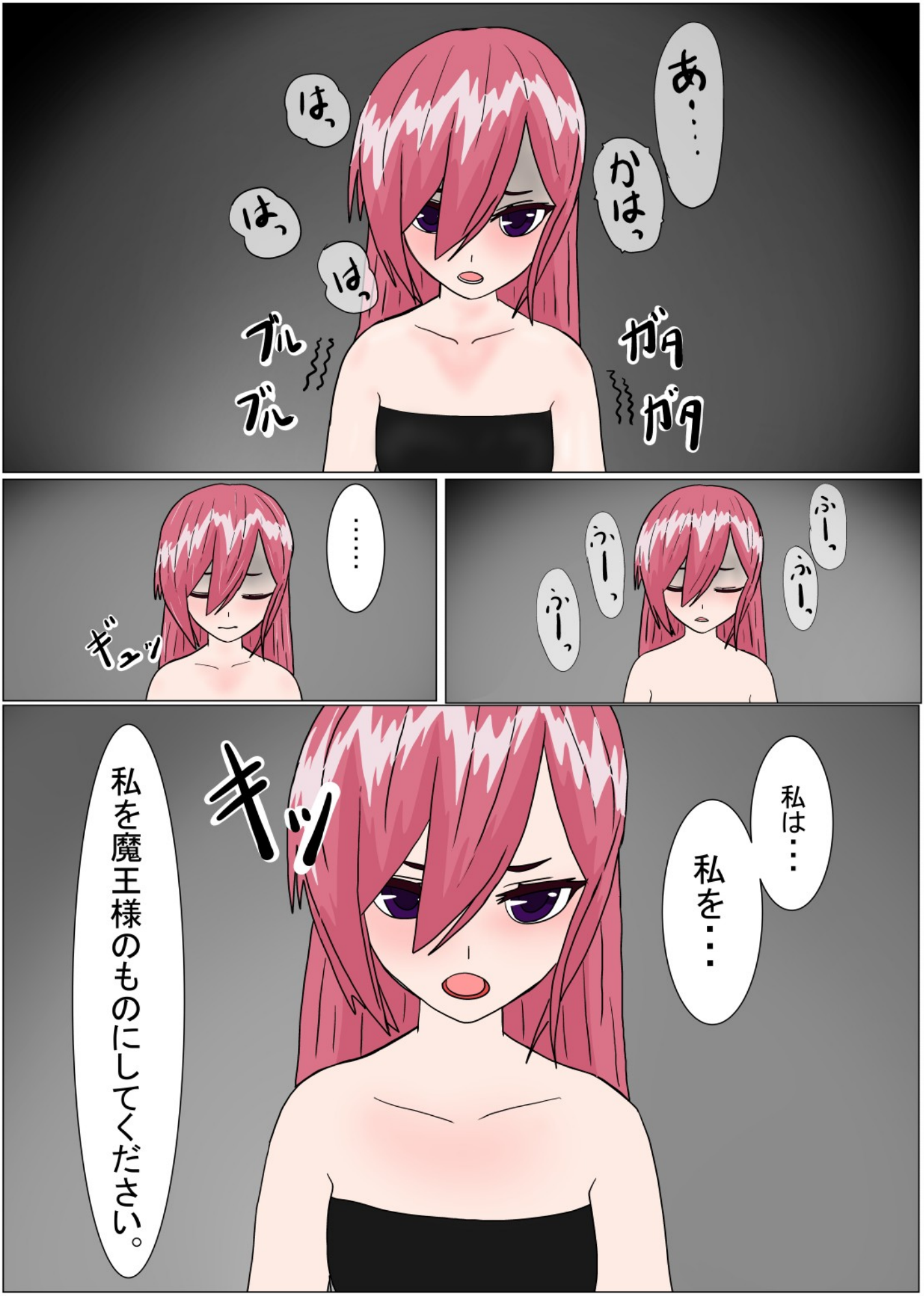

これが…
魔王…様…
私たちは…
こんな…
こんな恐ろしい相手と…
カタ
カタ
カタ
カタ

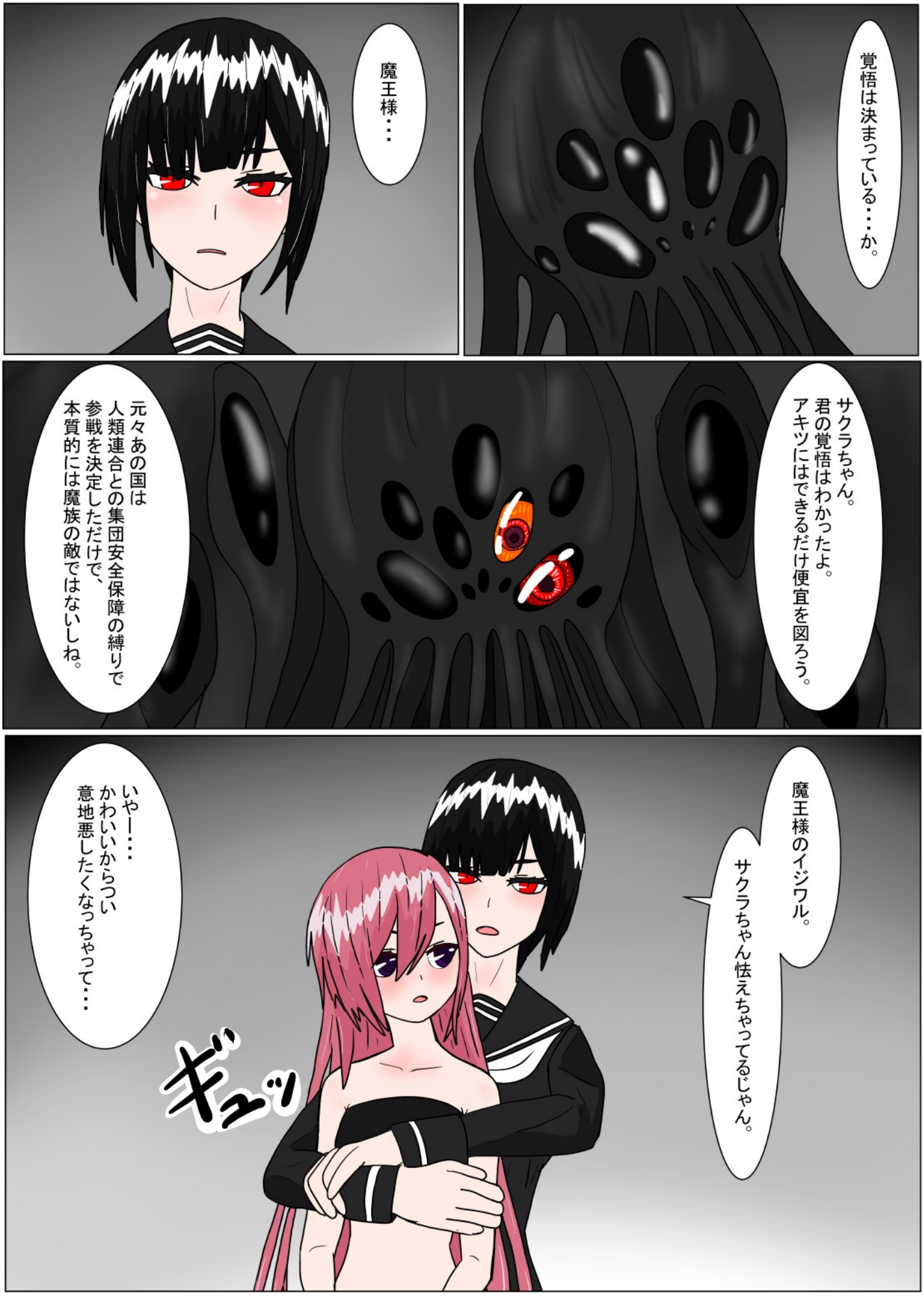

魔王様。
こちら、アキツ皇国の姫巫女
サクラ様です。
彼女は魔王様の夜伽役として、
後宮に入ることを了承してくれました。
お…
お初にお目にかかります。
サクラと申します。


え？
うちに来てくれるの？
そりゃまたあっさりと・・・
ええ、それで・・・
魔王様！
私は・・・！
身も心も、全てを魔王様に捧げます。
魔王様のどのような要求にも応えます。
ですから・・・
お願いします・・・
アキツ皇国の国民には寛大な処置を・・・
寛大な処置をお願いします！
魔王様。
私からもお願いします。

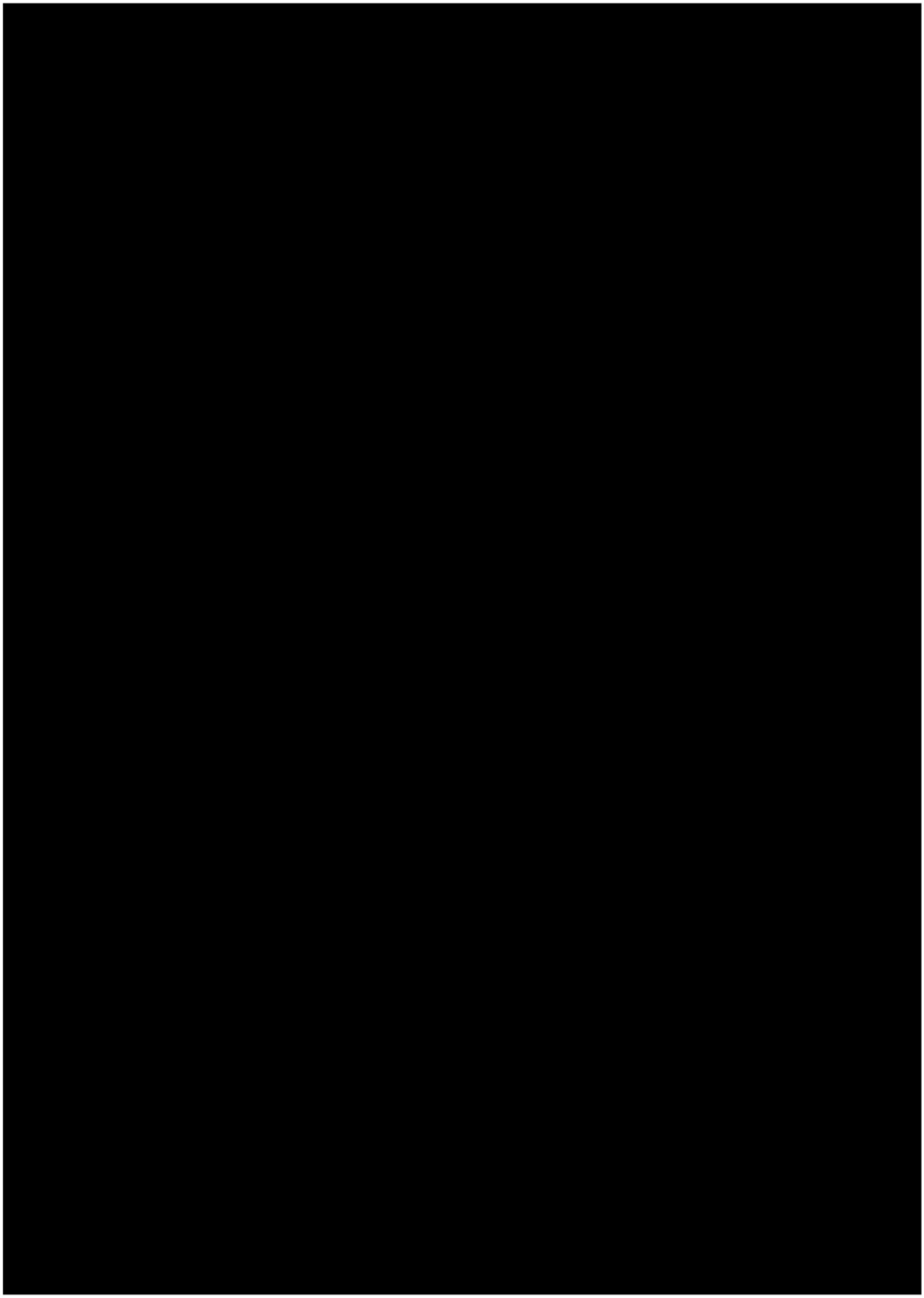

うーん…
なるほどなるほど、
そういうことかぁ…
ズル……
ビクッ
ねえ、サクラちゃん…
ズッ
君のお願いを聞いてあげるのは
構わないけど…
それはアキツから搾取する
利益のすべてを、
君1人で肩代わりするということだよ。
君はこれから未来永劫、
終わることのない苦痛を
受け続けることになる。
手足を切り取られ、
目を抉られ、
ただの肉塊になってもなお、
苦痛は続くんだよ…
その覚悟は…
ちゃんとある？

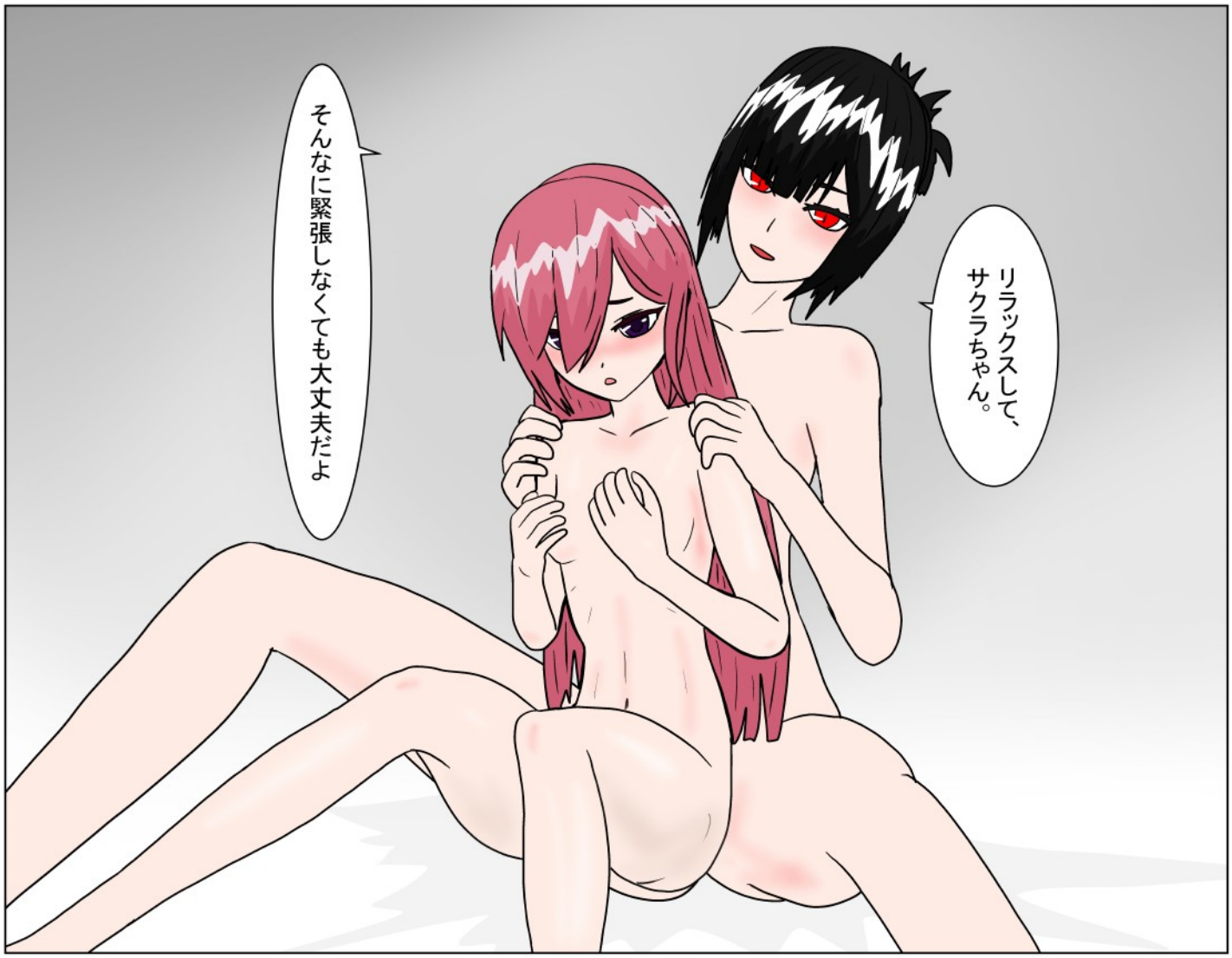

私は・・・
よく考えるんだよ。
君1人で国家1つ分の
全ての苦痛を引き受けるんだ。
君のほんの十数年の人生では
想像もできないような苦痛が、
これから最低数十年、
運が悪ければ数百年続く。
それでもなお・・・
アキツ皇国の身代わりとして、
私のものになることを望むか？
ギョロリ


あ・・・
かはっ
はっ
はっ
はっ
ブルブル
ガタガタ
・・・・・
ギュッ
ふーっ
ふーっ
ふーっ
私は・・・
私を・・・
キッ
私を魔王様のものにしてください。


覚悟は決まっている・・・か。
魔王様・・・
サクラちゃん。
君の覚悟はわかったよ。
アキツにはできるだけ便宜を図ろう。
元々あの国は
人類連合との集団安全保障の縛りで
参戦を決定しただけで、
本質的には魔族の敵ではないしね。
魔王様のイジワル。
サクラちゃん怯えちゃってるじゃん。
いやー・・・
かわいいからつい
意地悪したくなっちゃって・・・
ギュッ


ごめんね、サクラちゃん。
魔王様はたまにこういういじわるするけど、本当はとっても優しいから。怖いことにはならないよ。
ふぇ？
怖がらせてごめんね？
ひどいことは・・・しないってことですか？
痛いこととか苦しいことはしないよ。エッチなことはしてもらうけど。
え・・・えっちなこと・・ですか・・・
カー
んー？
へぇ、サクラちゃん結構むっつりだね。これは楽しくなりそう。

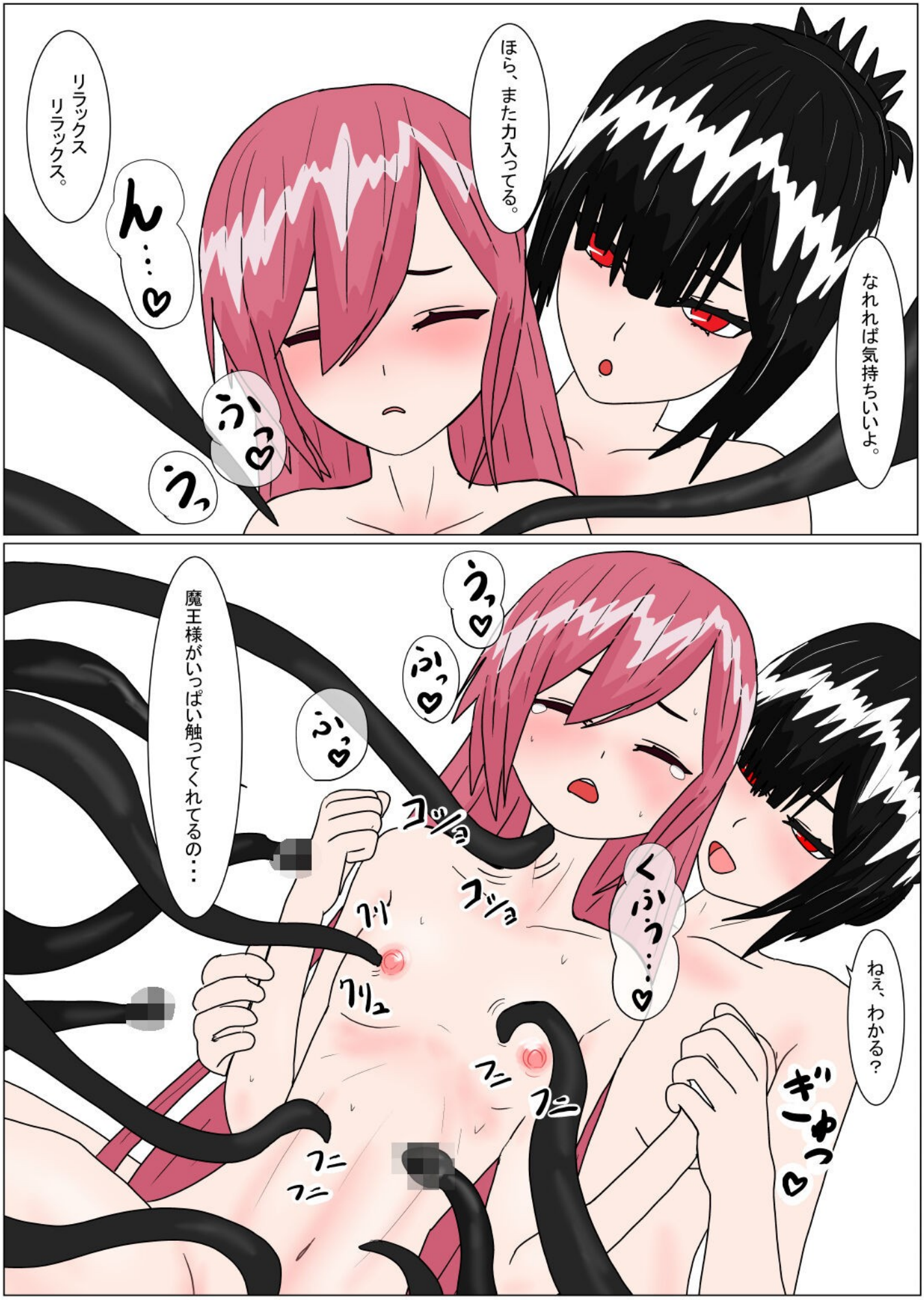



リラックスして、サクラちゃん。
そんなに緊張しなくても大丈夫だよ


サクラちゃんはエッチ初めて？
は、はい・・・


じゃーん！
こんなのどう？
ドン
ひっ


魔王様…
ご、ごめん…
かわいいジョークでしょ。
かわいくないですよ
怖がらなくて大丈夫だよ～
最初はちょっとだけ気持ち悪いかもだけど。
え？気持ち悪い？


なれれば気持ちいいよ。
ほら、また力入ってる。
リラックス
リラックス。
ん…♡
ふっ♡
うっ♡
うっ♡
ふっ♡
ふっ♡
魔王様がいっぱい触ってくれてるの…
コッショ
コッショ
クリュ
クリュ
フニ
フニ
フニ
フニ
くふっ…♡
ねぇ、わかる？
ぎゅっ♡


あっ…
ま、待ってください…！
あ……!!
バッ
ズズズ…
バッ


ダーメ♡
はっ
あ…あぁ…
キュッ
グイッ
ツプ…


あ……！
ズニュ
グチュ


あ…
あ…
あっ
ズニュル
ズズ…
グニ
くふっ
ギュッ
ズニュ…
グッ
グッ
グッ
グチュ…
グッ


そー…
チラッ
サクラちゃん、
見てごらん、
奥まで入ったよ。
ふる
ふる
ふる
わかる？
サクラちゃん…
サクラちゃんのお腹の中に
魔王様が入ってるんだよ…
あ……
ニチ
ニチ
ギチ
グッポリ


サクラちゃん、
こっち向いて…
あ…
黄泉様…
ん…♡
チュッ
チュプ
クチュ


いいですよ、
魔王様。
チュッ
チュー…


じゃ、じゃあ…
ゆっくり動かすよ～


中の魔王様に集中して…
魔王様を感じて…
お腹があったかくなるのがわかるでしょ？
いっぱい…
いっぱい感じて…
はっ♡
はっ♡
はあっ♡
はあっ♡
あっ♡
あっ♡
はっ♡
ふっ♡
ふっ♡
ぺちゃ
ぺちゃ
ぺちゃ
ゴッ
ゴッ
ゴッ
ズチュ
ズチュ

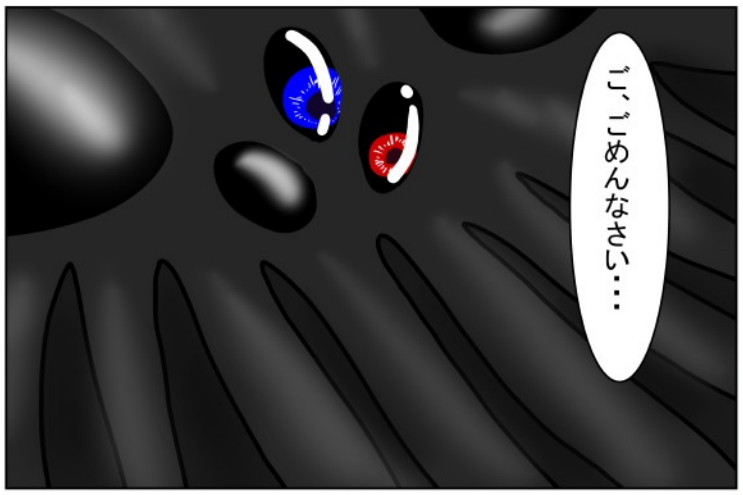

ふっ♡
ふっ♡
ふっ♡
ふっ♡
なんか…
なんか変に…
変になってくる…！
ふっ♡
ふっ♡
それが「気持ちいい」だよ。
恥ずかしがらないで。
いっぱい感じていいんだよ。
ちゅっ
ぺちゃ
ちゅっ
ぺちゃ
…あ⁉
ふふ、
気付いた？
ちょっと大きくなってきたでしょ？
もうちょっとだよ。
あっ♡
あっ♡
あっ♡
あっ♡
あっ♡
ズコ
ズコ
ジュプ
ジュッポ
ジュプ


ビュルッ
ビュルルル


お疲れ様、サクラちゃん。
よく頑張ったね。
初めてでちゃんとイケるなんて
才能あるよ～。
魔王様との相性がいいのかな？
はっ
はっ
はあっ
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
ピク
ピク
ピク
ピク
ビクッ ビクッ
ズロ…
グポ…
ドロ…


サクラちゃん
すっごくいいなぁ…
早速、
もう1回戦行こうか。

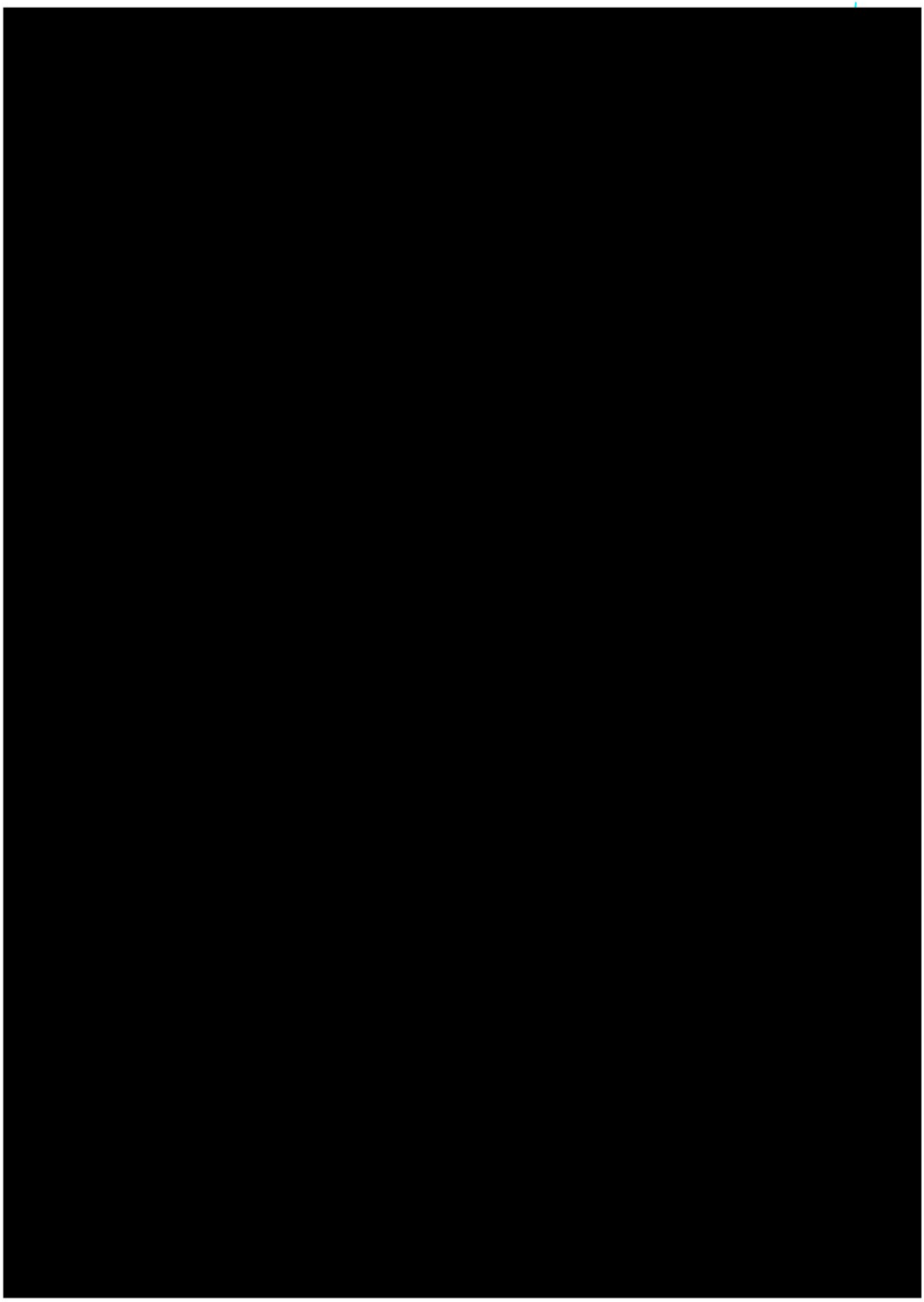

魔王様。
初めての子を相手に
あんまり無茶しちゃダメですよ。
ギュッ

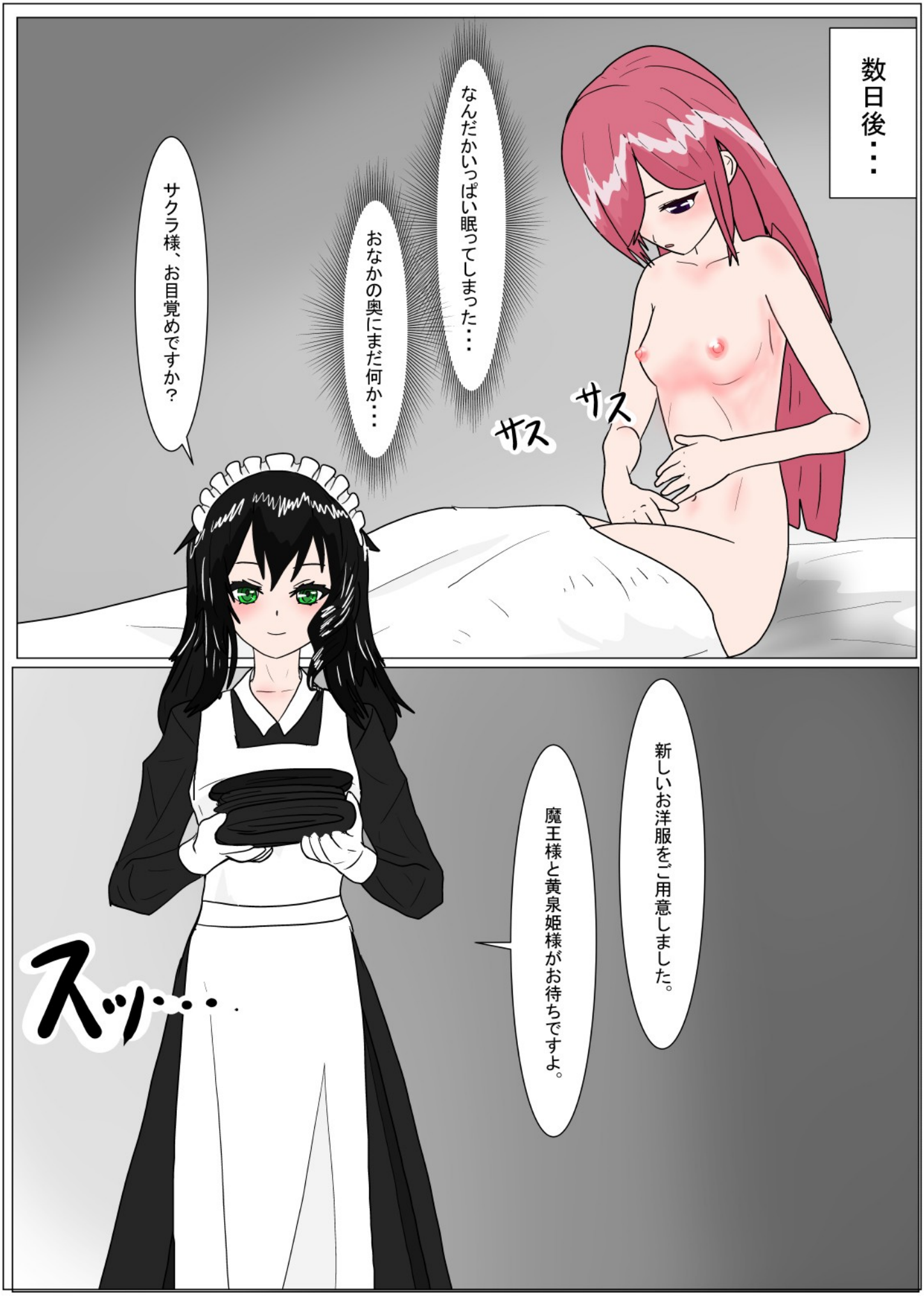

ご、ごめんなさい…


ちゃんと休ませてあげないと
嫌われちゃいますよ。
そ、そうだね…
じゃあ今日はもう寝ようか。


はい。
イタズラしちゃダメですよ？
しー

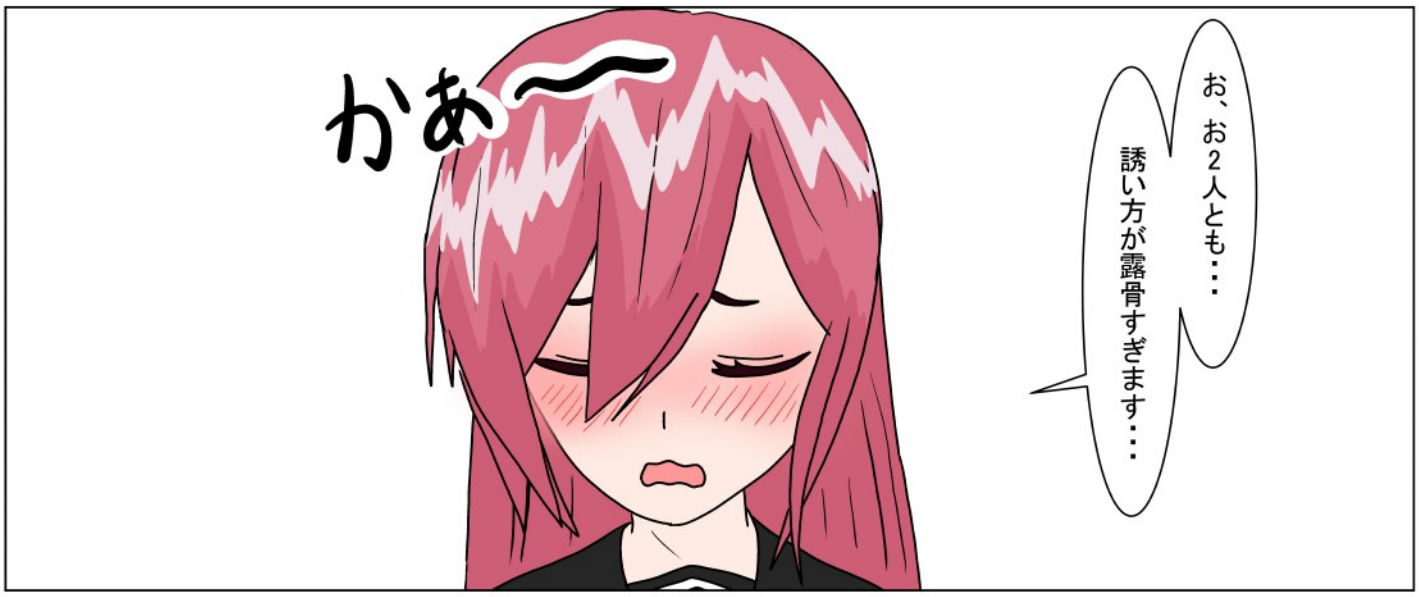





数日後・・・
なんだかいっぱい眠ってしまった・・・
おなかの奥にまだ何か・・・
サス
サス
サクラ様、お目覚めですか？
新しいお洋服をご用意しました。
魔王様と黄泉姫様がお待ちですよ。
スッ・・・


サクラ様のお召替え出来ました。
これ これ
ど、どうでしょうか…？
かわいい♡♡♡
!!あおおぉ


ちょーかわいい！
かわいすぎる！
セーラー服もめっちゃ似合ってる！
それはそうとHしようぜ！
うにょ
うにょ
うにょ
うにょ
すっごいかわいいよ～
最高にかわよ～
それはそうとHしよう？


お、お2人とも・・・
誘い方が露骨すぎます・・・
かあ～


ふ、服着たままでいいんですか？
服着たままだからいいんだよ！
えへへ～
今度は私も一緒にお願いしますね～
サワ
サワ
サワ
サワ
ワイッ
ゾロ
ゾロ
ゾロ
ゾロ
ゾロ


な…なんだか…
裸の時より恥ずかしいです…
あ…♡
うう…
はぅ…♡
それにせっかくの服…
汚れちゃうんじゃ…
スル
スル
スル
制服は
代わりがあるから…
は♡
ジュル
ジュル
は♡
は♡
派手に汚しちゃっても大丈夫だよ♡
ギチ
クニ
クニ
ギュッ


魔王様…
お尻に…
お尻に全部、入れてください…！
はっ♡
はっ♡
あっ♡
あっ♡
ズロ
ヌラ
ヌチ
ヌチ
ヌチ
私の中、
いっぱいにしてください！


黄泉ちゃんはおしりすきだからなぁ・・・
押し込んでいくから力抜いてね。
はい・・・！
お願いしますぅ・・・！
あっ♡
あぁっ♡
は♡
ミチ
グチュ
メリ
ギチ
ガ
ガ
ガ
ガ


お？
中きれいだね。
洗ってきたの？
は、はい・・・
魔王様にほじって欲しくて・・・
きれいにしました・・・！
だから最後まで、
最後までお願いします・・・！
あっ・・・♡
ズズズ・・・
ズニュ・・・
ギュ
かはっ♡
あぐっ・・・♡
あっ♡


ズヌ
ズリ
ズヌヌ
黄泉ちゃんはこういうアブノーマルなの好きだよねぇ…
あっ♡
かはっ♡
ポ……
出は…♡
こぽっ♡

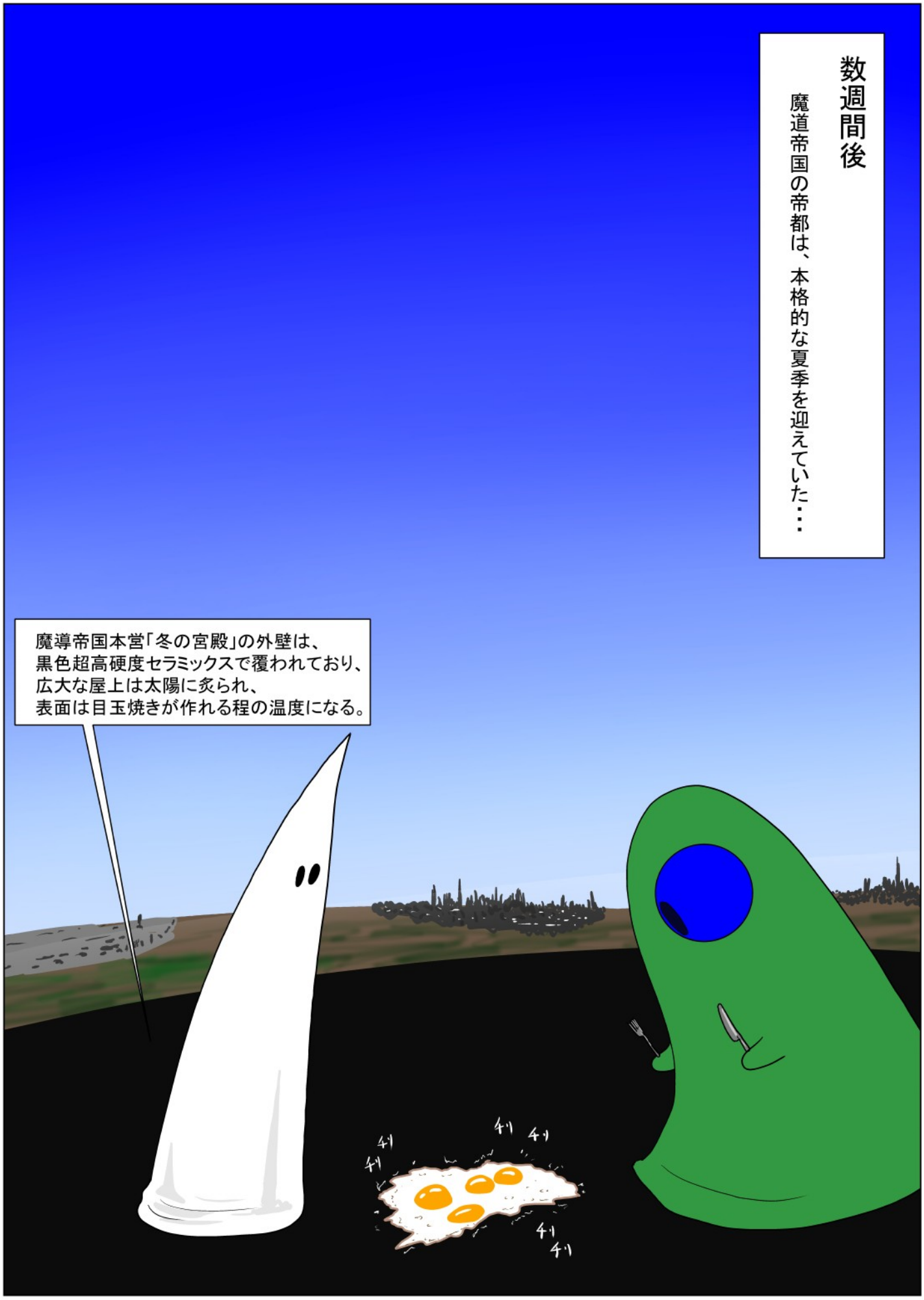

黄泉様…？
？
んうっ♡
ズル
コポ
ちゅ♡
ちゅく♡
あっ♡
くちゅ
グッ


んっ♡
んくっ♡
んちゅ♡
黄泉様のお口から…
魔王様の触手が…！
あっ♡
あがっ♡
あはっ♡
あくっ…♡
激しい…！
はっ♡
ちゅ
くちゅ
ちゅる
ちゅ
ちゅ
くちゅ


んふっ
ちゅる♡
んちゅ♡
くちゅ♡
ちゅる
ちゅ♡
ちゅぷっ♡
ちゅ♡
ちゅる
んっ♡
んんっ♡
ちゅぷっ♡
ちゅ♡
ちゅる
ちゅく♡
ちゅっ♡
ちゅぷっ♡
ちゅ
ちゅぷっ♡
ちゅ♡
ちゅう♡
ちゅ♡
ちゅ♡
あっ♡
あうっ♡
あんっ♡
あっ♡
グポ
グポ
ヌポ
グチュ
グチュ
グチュ
グチュ
ヌチュ


ちゅ♡
ちゅう♡
ちゅう♡ちゅう♡
ちゅぱ
ちゅぽ
ちゅぽ
ちゅぱ♡
ちゅぽっ
かはっ
サクラちゃんの唾液…
とっても美味しい♡
ちゅ
ちゅぷ
ちゅぷ
ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅう♡
ちゅぱ
ちゅ♡
あ♡
あぁ♡
あぁっ♡
もっといっぱい…！
へ、変だよ…
ちゅるるる♡
ちゅ♡
れろ
ねろ
れろ
れろ
ちゅる
ちゅるる
じゅるる♡
ふわっ
はわっ
あぁぁぁ!!
お口だけなのに…
気持ちよすぎるよぅ…♡
じゅばぁぁ


ご馳走様♡
サクラちゃんのお口、
とっても美味しかったよ。
ちゅぱ
ぺろ
ぺろ
ぺろ


数週間後
魔道帝国の帝都は、本格的な夏季を迎えていた・・・
魔導帝国本営「冬の宮殿」の外壁は、
黒色超高硬度セラミックスで覆われており、
広大な屋上は太陽に炙られ、
表面は目玉焼きが作れる程の温度になる。


ピース♡
魔王様！
見て見て～！
夏服だよ～
いいでしょ？
水浴びしよ！
洗ってあげるよ～
ふぁあああかわいい!!!

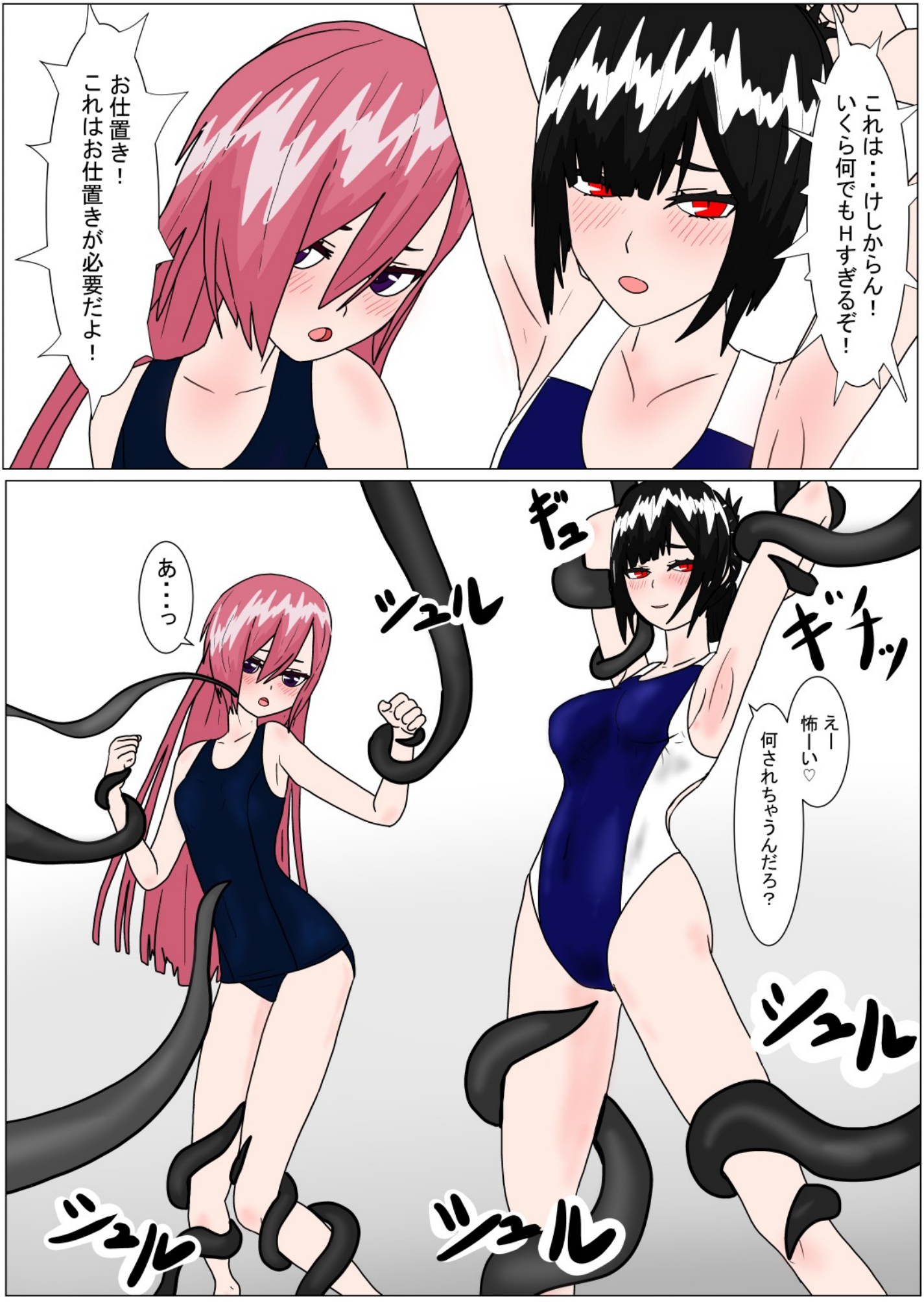

あぁ～気持ちいい・・・
あ、サクラちゃん、そこもう少し強くてもいいかも。
はい。
目と肌の継ぎ目の部分、擦ってね。
はいはい、ほかにも痒いとこあったら言ってくださいね
キュッ
キュッ
キュッ
キュッ
キュッ
キュッ
キュッ
ジャバ
ジャバ
ジャバ


ん？
んん～？
ねえねえ、
2人とも・・・
もしかして・・・


制服の下に・・・


あー、
気付いちゃいました？


バッ
はーい、
魔王様の大好きな水着ですよ～
これでいっぱいHしましょうね♡
てれ
てれ
ヌギ♡
わ、私も…
水着…です♡
ヌギ♡
バーン


これは・・・けしからん！
いくら何でもHすぎるぞ！
お仕置き！
これはお仕置きが必要だよ！
ギュ
ギチッ
ツュル
ツュル
ツュル
ツュル
あ・・っ
えー
怖ーい♡
何されちゃうんだろ？


あん♡
ガッツきすぎですよぅ
ズズズ
ズル
グチュ
ボボ
あっ…
そんな…
いきなり……！
はぅ♡
あっ♡
スリ
スリ
あん♡
グチュ
グニュ
グニュ


ゾワ
ドロ
ゾワ
ドロ
ゾワ
ゾワ
すごいでしょ、これ。
このトゲトゲで黄泉ちゃんを一緒にいじめようね。


黄泉ちゃんはまだ余裕そうだし、サクラちゃんにも手伝ってもらおうかな。
手、出してみて。
？
こうですか？
トロ…


あぁっ♡
あっ♡
あっ♡
はっ♡
はぁっ♡
はぁっ♡
ゴシュ
ゴシュ
ゴシュ
まって、サクラちゃん！
サクラちゃん！やめて！
ご、ごめんなさい…黄泉様…
魔王様の指示なので…


黄泉様でもこんな顔するんだ…
かわいい♡
ちゃ♡
ちゃ♡
ちゃぱ♡
ちゃぱ♡
んぐっ♡
くぅっ
うっく
ぴちゃ
ぺろ
ぺろ
ぐり
ぐり
ぐり


あぁっ♡
あっ♡
ガク
ガク
ギチ
イク！
イッちゃいますぅ！
あぁぁ
ガク
あぁぁ!!
ガク
ギッ
ヂュバ…


サクラちゃんも結構テクニシャンだね。
次はサクラちゃんをいじってあげる。
あ…


はっ♡
はっ♡
ふっ♡
ふっ♡
ふっ♡
ふっ♡
ふっ♡


ふっ♡
ふうっ♡
ふうっ♡
ニコ…
そうですね、魔王様。
次はサクラちゃんを、
たっぷりいじってあげましょうか…
たっぷり仕返しさせてもらうから。
覚悟してね？
…あっ
ちゅく
ちゅう
ちゃぱ♡
ちゃぱ♡
ぐんっ
ぐんぐ
ぐぐぐ
ちゃく
ちゃう♡
ちゃるる
ギッ
ギッ
ちゃ♡
ちゃぱ
クリ♡

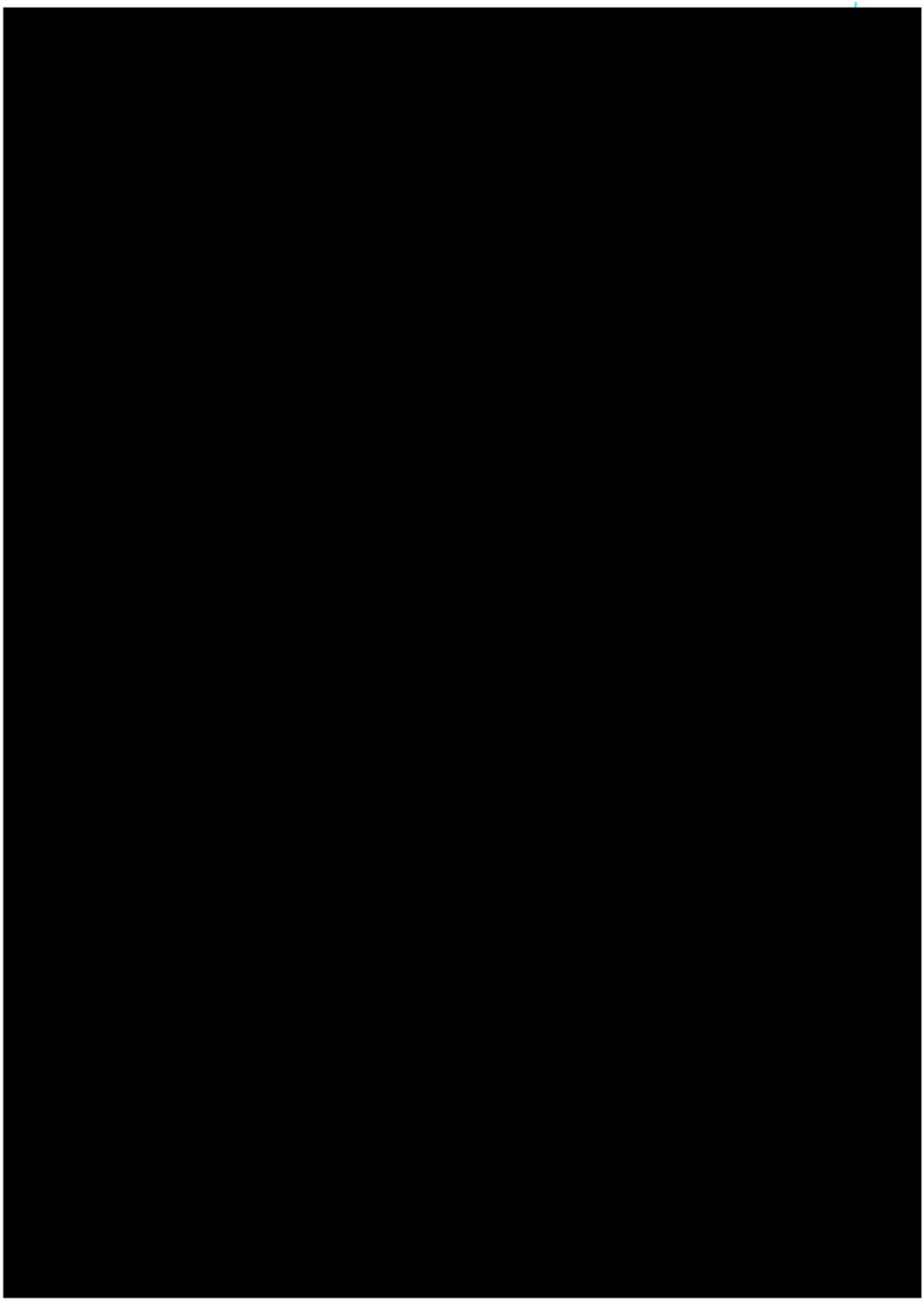

あがぁ!?
あっ
ビクッ
ほーら、気持ちいいね～
もっと声出していいんだよ？
ごめんなさい！
ごめんなさい！
黄泉様！
許してください！
ね、これから一緒に
魔王様にいっぱいイジってもらおうね♡
はっ
あがっ
あうっ
あっ
ペロペロ
クイッ
クネクネ

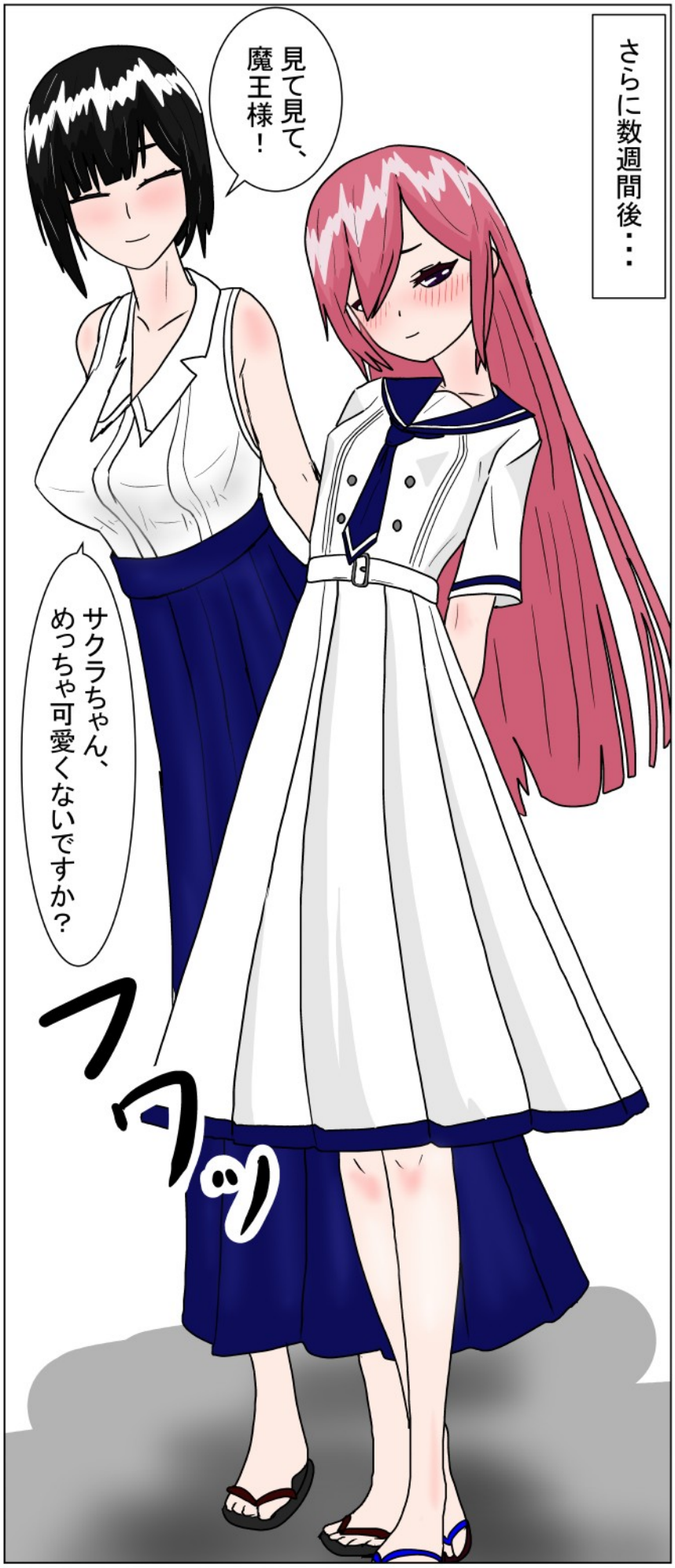

ギチ
ギチ
ギッ
ギッ
うう…♡
あ…♡
ズイ
ズズ
ズズ…
ツュル
ツュル
ツュル
ん♡
んん♡
ニュ
ニュ
ニュ
ニュ
ズイッ
ツュル
ツュル
ツュル
ツュル


あぐっ
はっ♡
あっ♡
うっっ
かっ
あっ♡
あっ♡
あっ♡
カリ
カリ
カリ
カリ
カリ
カリ
コリ
コリ
コリ
コリ
コリ
サラ
サラ
サラ
サラ
サラ
ヌチュ
ヌチュ
ヌチュ
ヌチュ
ヌチュ
かはっ
あっ♡
あはっ♡
あっ♡
あっ♡
あっ♡
ザワ
ザワ
ザワ
グニュ
グニュ
ジュコ
ジュコ
ジュコ
ギチ
ミチ
ミチ
グチョ
グチョ
グチョ
ギッ


ひあっ♡
ぁあ♡
あ♡あ♡あ♡
ぁ♡あ♡あ♡あ♡
ガ
ガ
ガ
ッ
ビュルルル


今日は水浴びもHも、
すごく楽しかったよ。
ゆっくり休んでね。



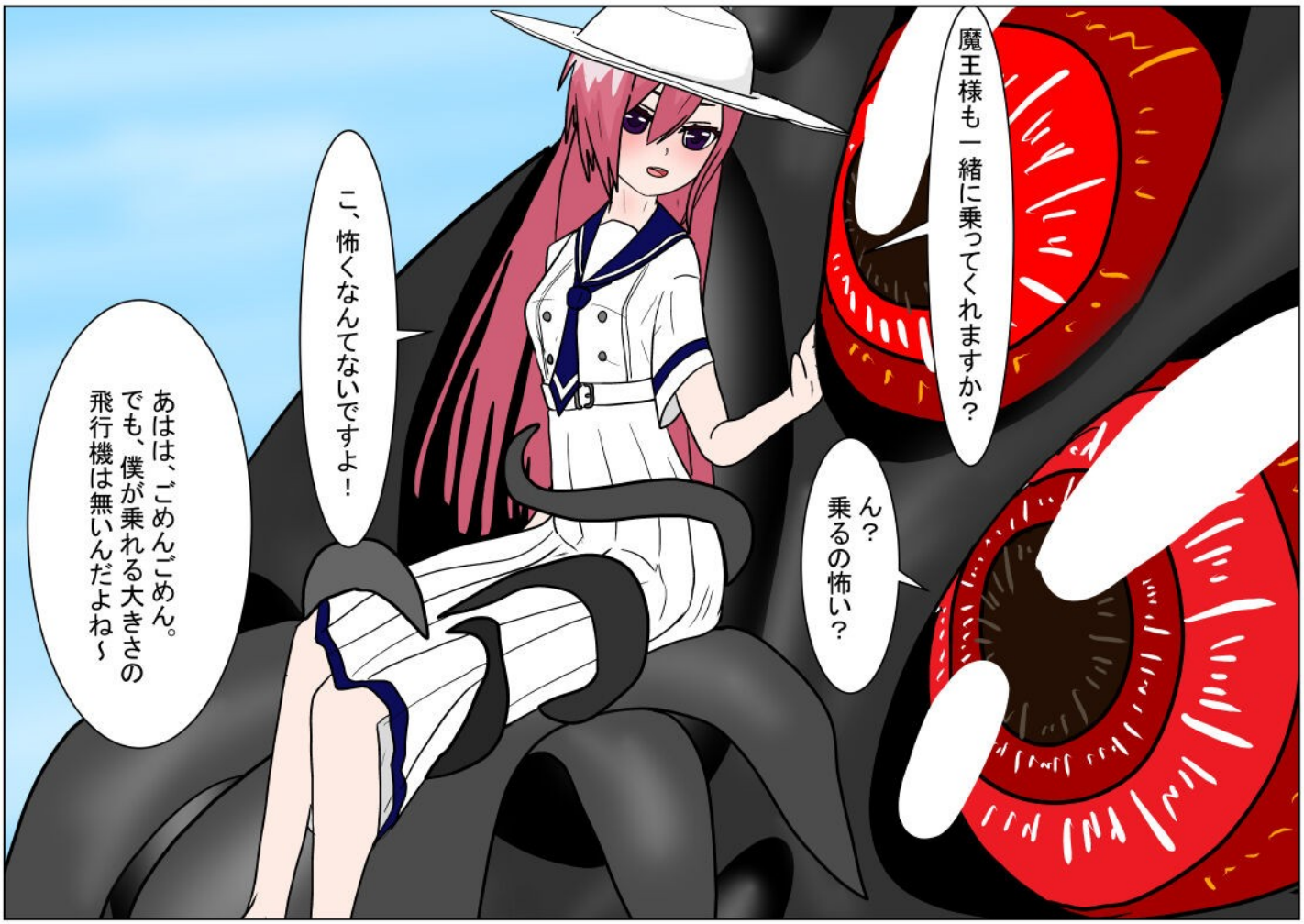

さらに数週間後・・・
見て見て、魔王様！
サクラちゃん、めっちゃ可愛くないですか？
フワッ


おお～・・・
めっちゃ可憐だ・・・！


あ、黄泉ちゃんの服も可愛いよ。
ありがとうございます。
でも今日はサクラちゃんとのデートなんだから、
他の子に目移りしてちゃダメですよ。


ボボボボ…ボボボボ
ゴオオオオオオオオ…

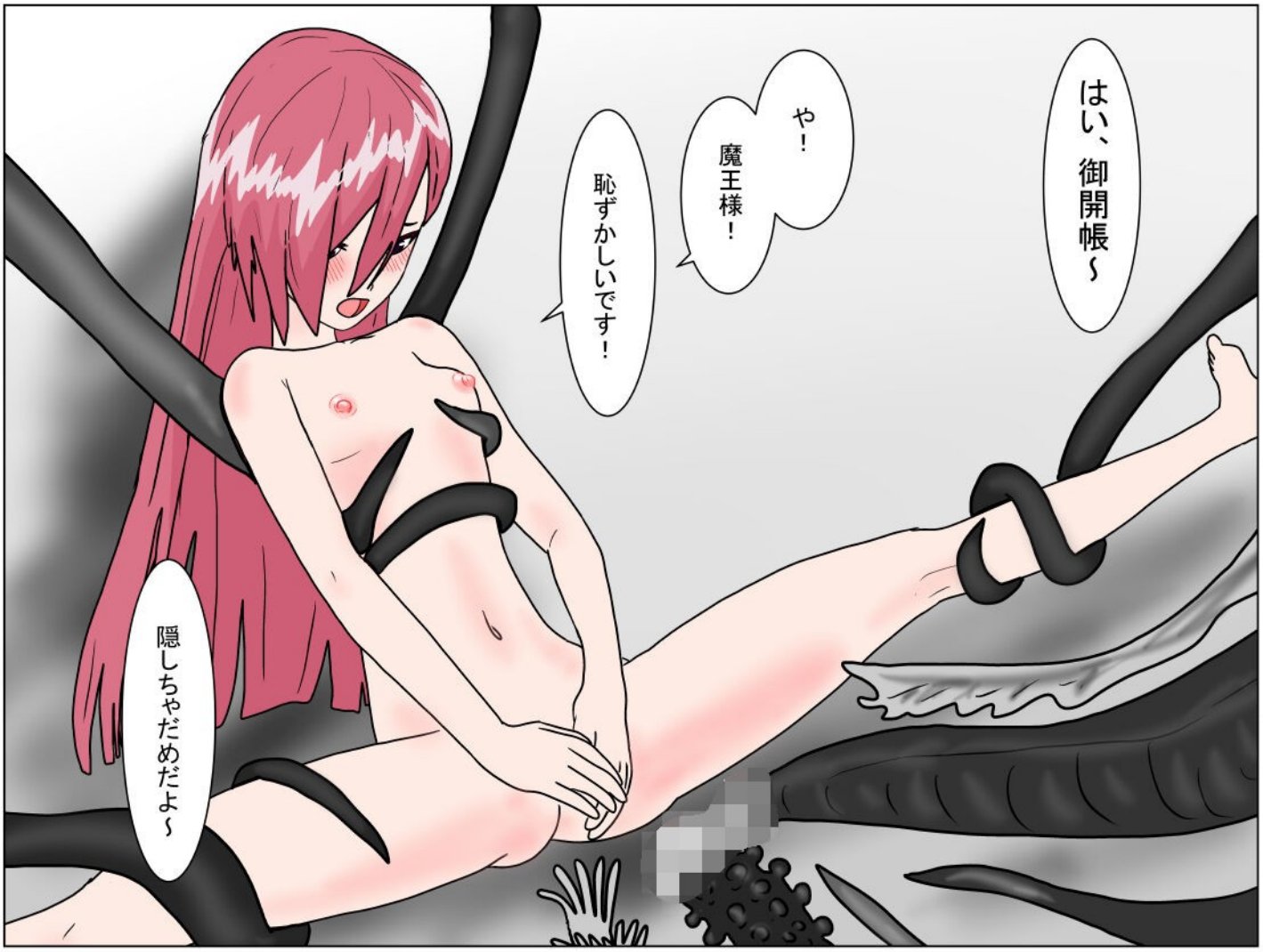

あれって金属製なんですよね？
あんな大きなものが飛ぶなんて、今でも信じられないです。
金属とはいってもアルミだからね、あの大きさでも飛竜と同じくらいの重さなんだよ。
今度乗ってみる？


魔王様も一緒に乗ってくれますか？
ん？乗るの怖い？
こ、怖くなんてないですよ！
あはは、ごめんごめん。でも、僕が乗れる大きさの飛行機は無いんだよね～


ねえねえ、さくらちゃん、
ぼくムラムラしてきちゃった。
Hしようよ。
スッ
ワキ
ワキ
ワキ
い、いいですけど…
外はだめですよ。
ちゃんと部屋に戻ってからです。
カー
よし、じゃあ戻ろう！
今すぐ！

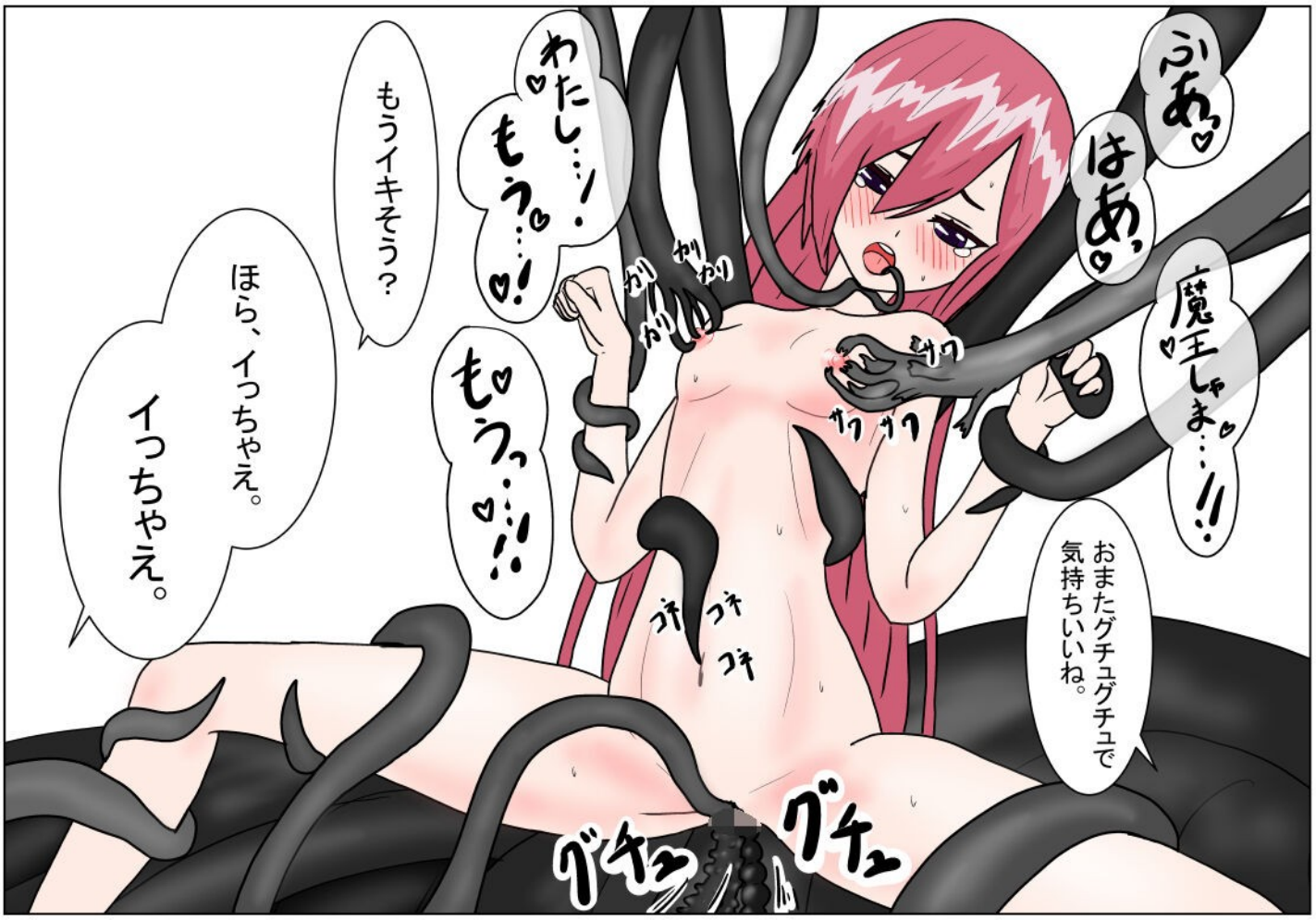

ま、魔王様！
あっ♡
まって!!
ダメ!!
ダメです!!
がっつきすぎです！
落ち着いてください！
めくり
ウゾ
ウゾ
ウゾ


だ、ダメですよ！
せめて服を脱いでから！
服汚したら、
黄泉様に怒られてしまいます！
クチュ
クチュ
クチュ
クチュ
クチュ
クチュ
クチュ


はい、御開帳～
や！
魔王様！
恥ずかしいです！
隠しちゃだめだよ～


はい、手どけようね～
お尻もいっしょに
いじってあげるよ！
んぐ♡
くぅっ♡
うっ♡
ぐっ♡
いぐ♡
くぅっ
うっ♡
うっ♡
うっ♡
うっ♡
うっ♡
うづづぅ～～～！♡
グチョ
グチョ
グチョ
クポ
クポ
クポ


どう？
気持ちいい？
あっ♡
あっ♡
ふうっ♡
はうっ
Mっく♡
はい…！
魔王様…！
気持ちいいでしゅう…
ゴチュ
ゴチュ
ゴチュ


ふあっ♡
はあっ♡
魔王しゃま…!!
おまたグチュグチュで気持ちいいね。
わたし…！もう♡…!
もうイキそう？
もうっ…!!
ほら、イっちゃえ。
イっちゃえ。
グチュ
グチュ


あっ♡
イくっ♡
イくっ♡
キュ
カリ
カリ
カリ
カリ
サワ
サワ
サワ
サワ
イッちゃいます!!
ゾリ
ゾリ
ゾリ
ヌチョ
ヌチョ
ヌチョ
ヌチョ

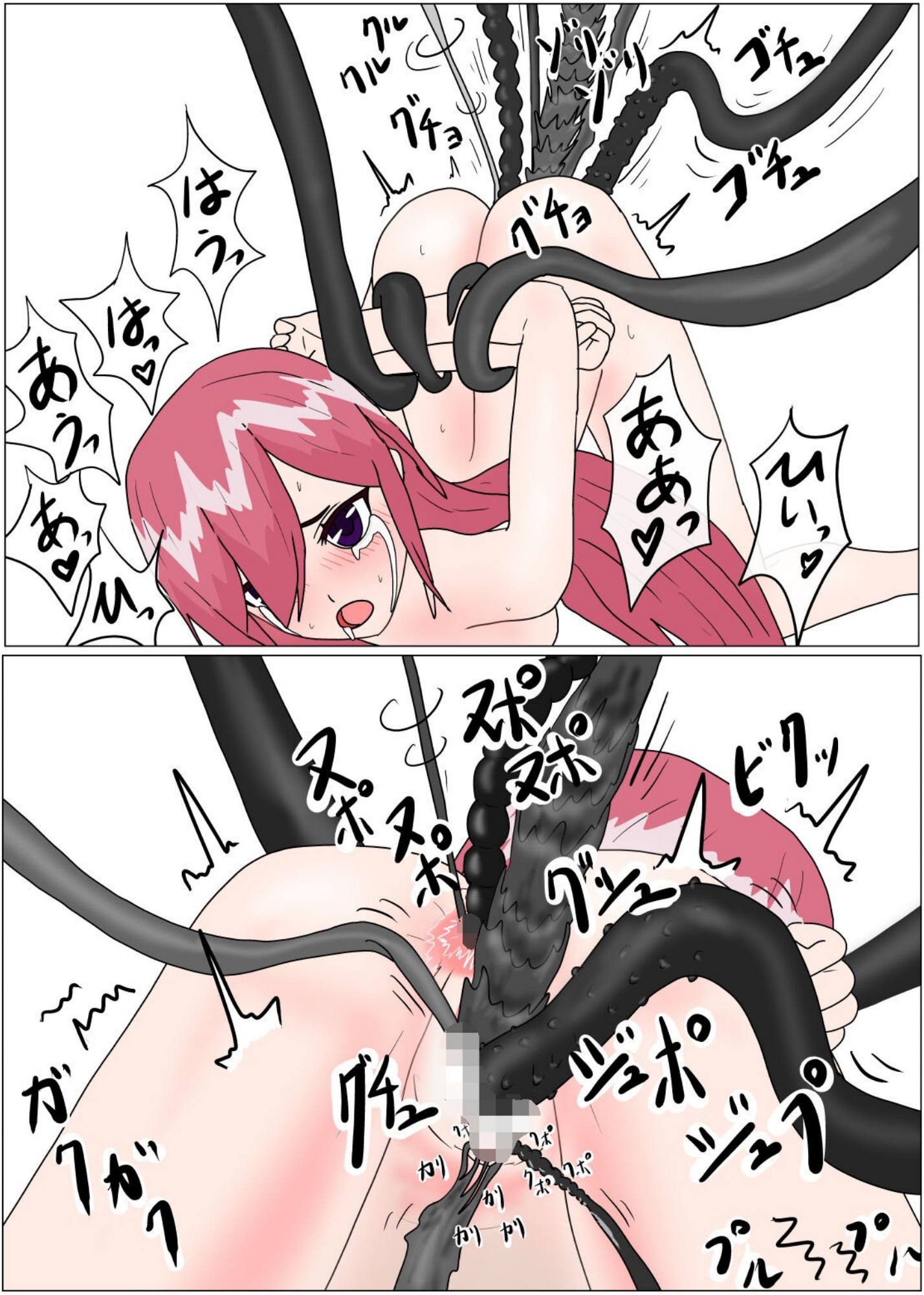

気持ちよかった？
はい。
とっても気持ちよかったです・・・
チュッ
チュッ
はあっ♡
はあっ♡
はあっ♡
魔王様・・・♡
えへへ・・・
次は私が・・・
してあげますね♡


お？
おお？
サクラちゃん…
お口で…
ぐぷぷぷぷぷぷぷぷ
ぐぽぐぽ
ゴプッ
うぐぅ…
いつの間にこんな技術を…
ちゅぞぞぞぞぞ
ブポォ…
よみはまにおひえへもあいまひた
（黄泉様に教えてもらいました）
ぐぐぐぐっ
ちゅるるっ
んはっ
ぐぽ
んべ


サクラちゃん…！
ぼく…
もう…！
んっ♡
んぐっ♡
いいれふよ…
んっ♡
んんっ♡
モゴ
モゴ
モゴ
ちゃる
ちゃる
ぺちゃ
コチュ
コチュ
コチュ
いふでも…
だひへくらふぁい♡
ビュルルル！！
で、出る！


んくっ♡
んくっ♡
んくっ♡
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ちゅる
ドクッ
ドクッ
ドクッ
んっ♡
じゅるるるる♡
ちゅるるん！
んぐっ♡
はっ♡
えへへ…
いっぱい出ましたね♡
はぁっ♡
はぁっ♡
はっ♡
トロ…
ドロオオオオ…


頑張ってくれたご褒美に、
たくさんいじってあげるね。
はっ♡
あぁ…
はっ♡
はっ♡
はっ♡
グパ
ギチッ
グイ
ズラッ

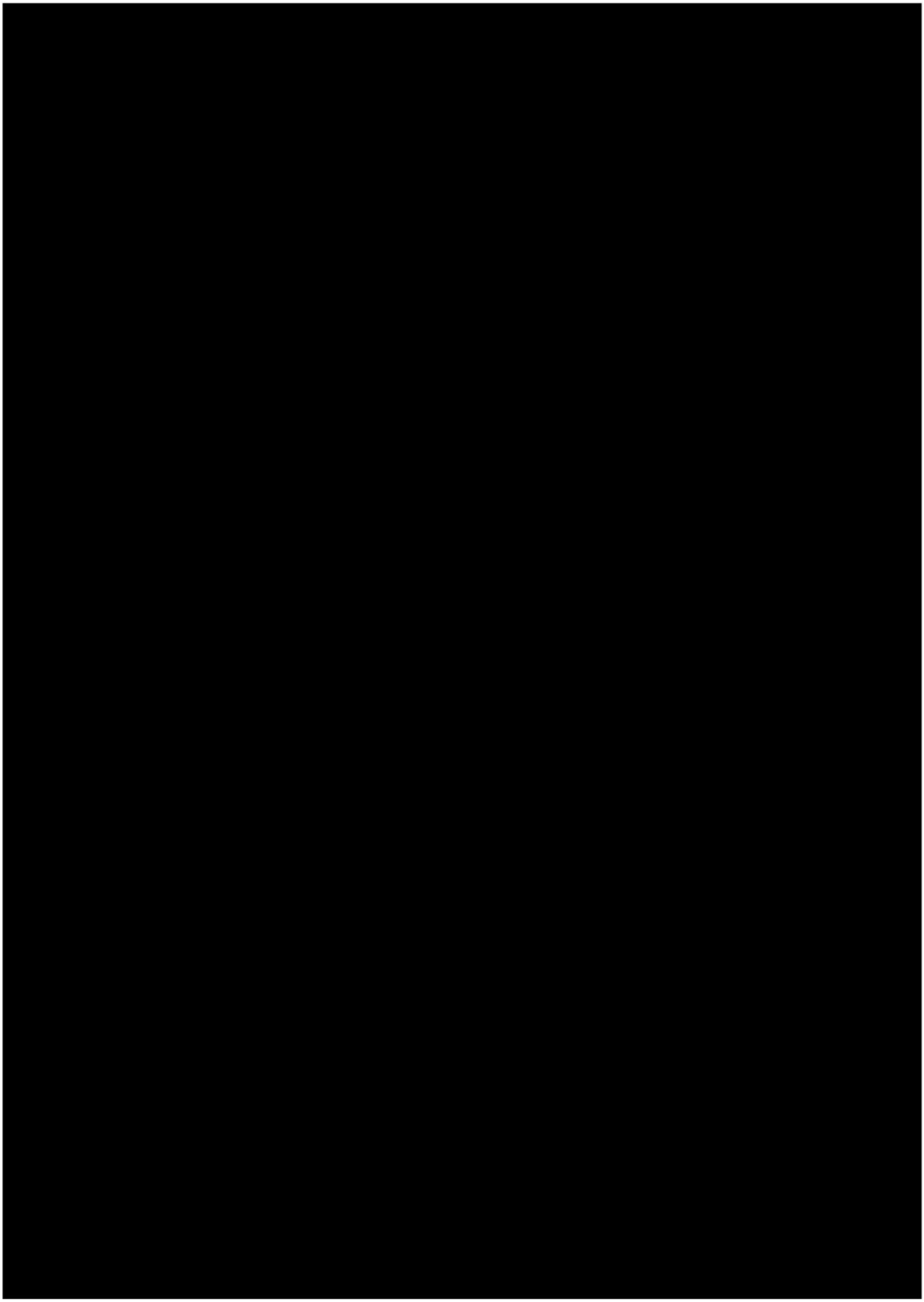

グルグル
グチョ
ゾリゾリ
グチュ
グチョ
グチュ
グチョ
はうっ
はっ♡
あうっ
あっ♡
あぁっ♡
ひぃっ♡
スポスポ
スポスポ
ビクッ
グッ
ガクガク
グチュ
ツポツポ
ツプ
プルプル
カリ
クポ
カリ
クポ
カリ
カリ


ビクッ
んっ♡
くぅ♡
ビクッ
ふぅ♡
うっ♡
コッ
コッ♡
ヴィィィ


あっ♡
あがっ♡
はがっ♡
ヌコ
ヌコ
ヌコ
ヌコ
ジュル
ジュコ
ジュコ
ジュブ
クポ
クポ
クポ
クリ
クリ
クリ
クリ
クリ
クリ
クリ
クリ
ギュッ
サラ
サラ
サラ
サラ
サラ

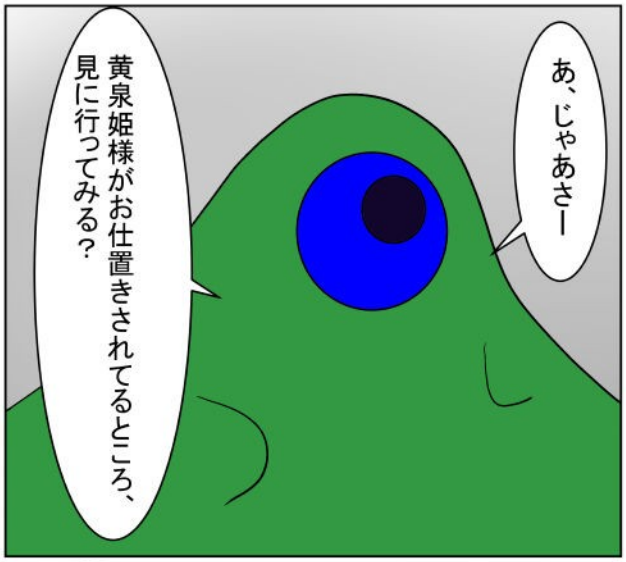

イくっ♡…♡
ビクッ
ビクッ
イ
ぐ
う♡
う
ぅ
ぅ
ぅ!!
ブシャアア


今日は楽しかったね。
はい…♡
キュッ♡
はあっ♡
はあっ♡
はあっ♡
トス…
……
魔王様…
ん？
何？
また…
デートして…
いっぱいかわいがってくださいね…
もちろんだよ！
これからもいっぱいHしよーね！




ある日・・・
ぺた
ぺた
サクラちゃーん！
今日の夜伽は中止だって。
ぺた
中止？
うん。
なんか、魔王様が激オコだって。
黄泉姫様にお仕置きするって言ってた。

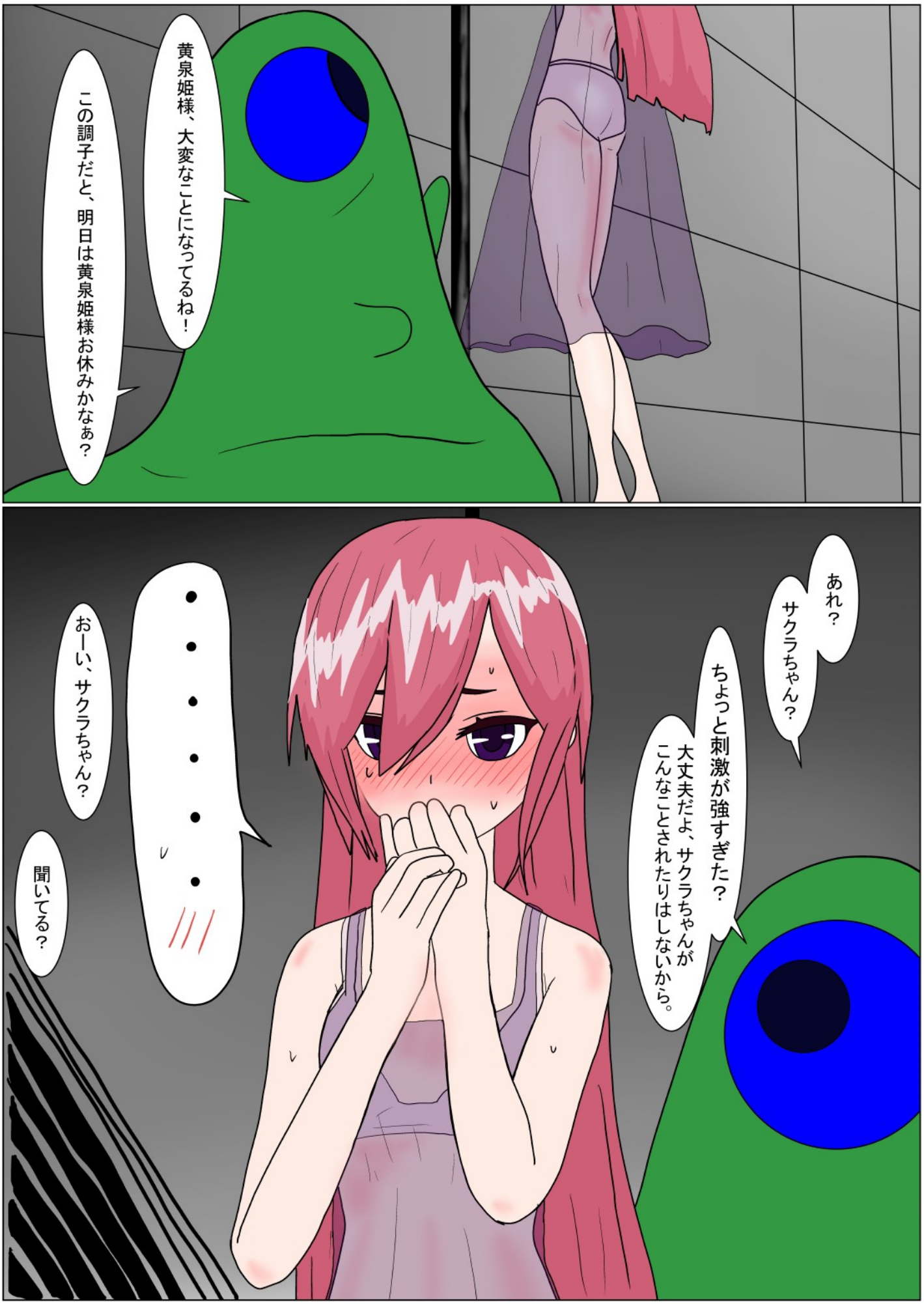

黄泉様・・・
何があったんだろ・・・？
黄泉姫様は自由人だから・・・
たまにこーゆーことあるよ。
心配？
それもあるし・・・
呼んでもらえないのも残念・・・
ぺちゃ
ぺちゃ

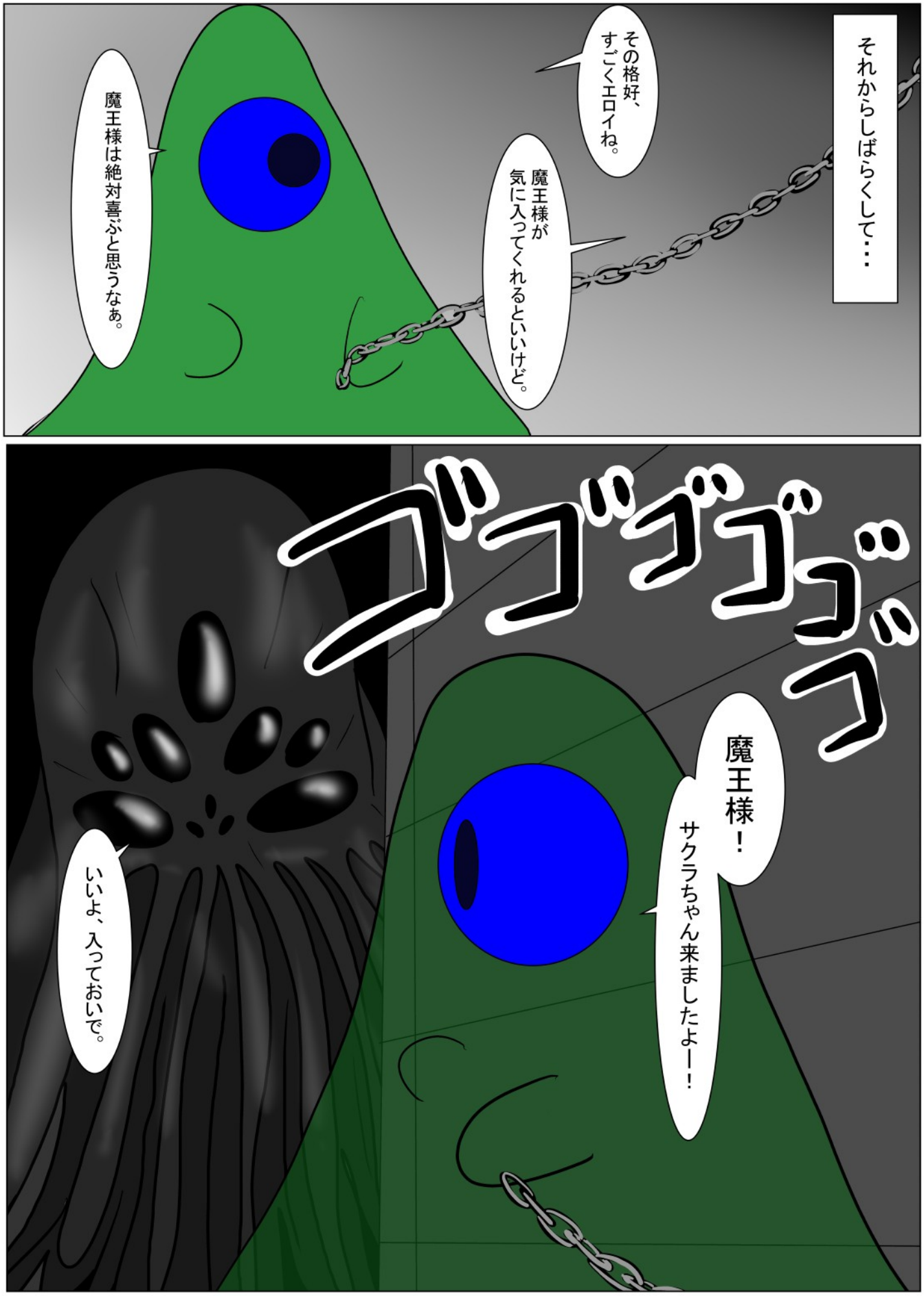

あ、じゃあさー
黄泉姫様がお仕置きされてるところ、
見に行ってみる？


そ、そんなことしていいの・・・？
大丈夫だよ。
僕らよく見に行ってるけど、
何か言われたこと一度もないよ。

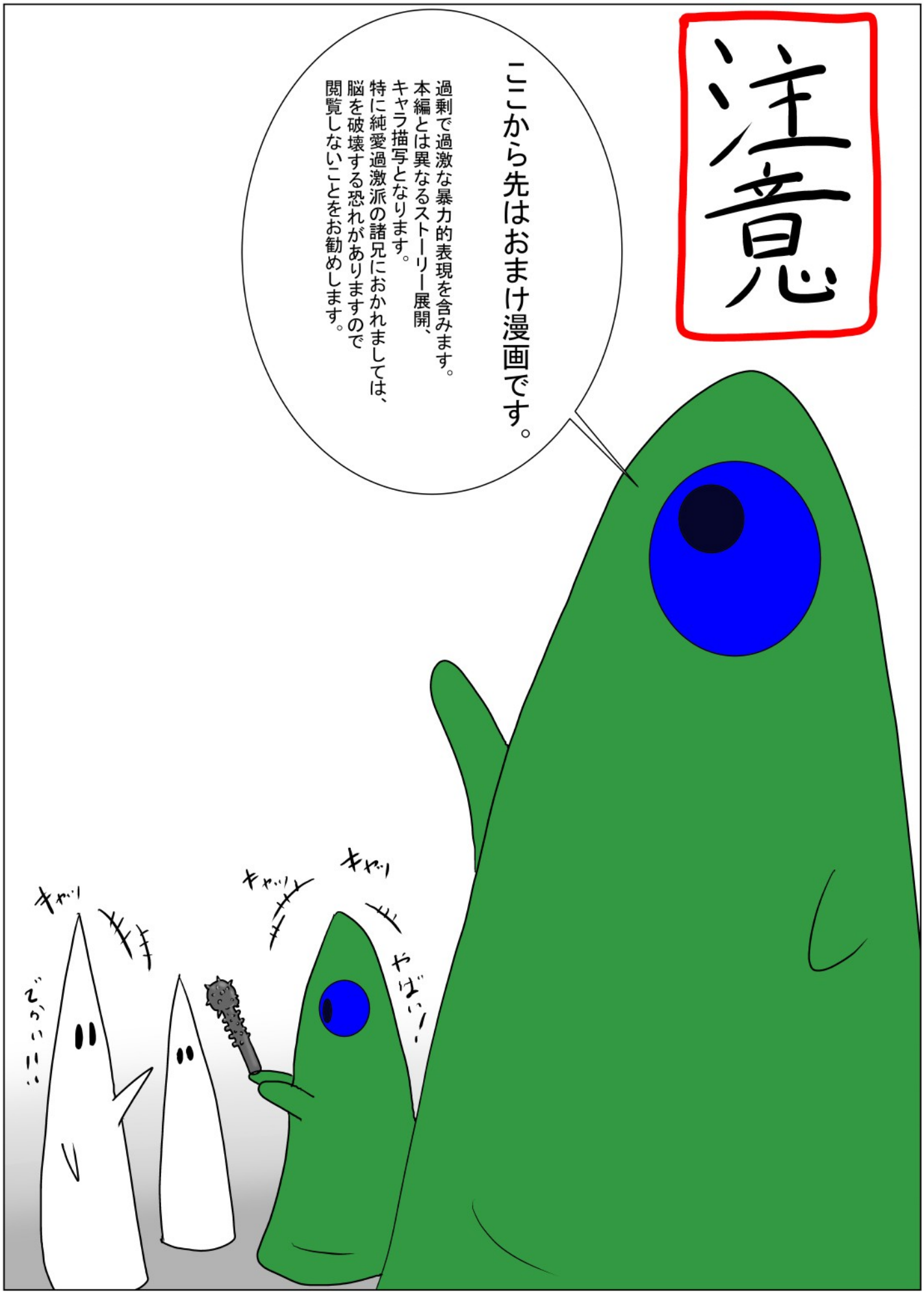

ごめんなさい!!
ごめんなさい!!
魔王さま!!
ごめんなさい!
勝手に先行して、みんなに迷惑かけて…
これも一度や二度じゃないんだよ?
本当に悪いと思ってる?
ドク
ドク
ドク
ブスリ
ゆるして!
ゆるして!
僕がどれだけ心配したか、わかってないでしょ?
ゴッ
ゴッ
ザッ
ザッ
ザッ


んぐ♡!?
ぐっ♡
ぐぅっ
ぐぅっ♡
ごっ
ふっ♡
ふっ♡
ふっ♡
お仕置きなのにこんなに濡らして、
黄泉ちゃんは本当に悪い子だな！
このまま一晩、反省しなさい。
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ズリ
ズリ
ズリ

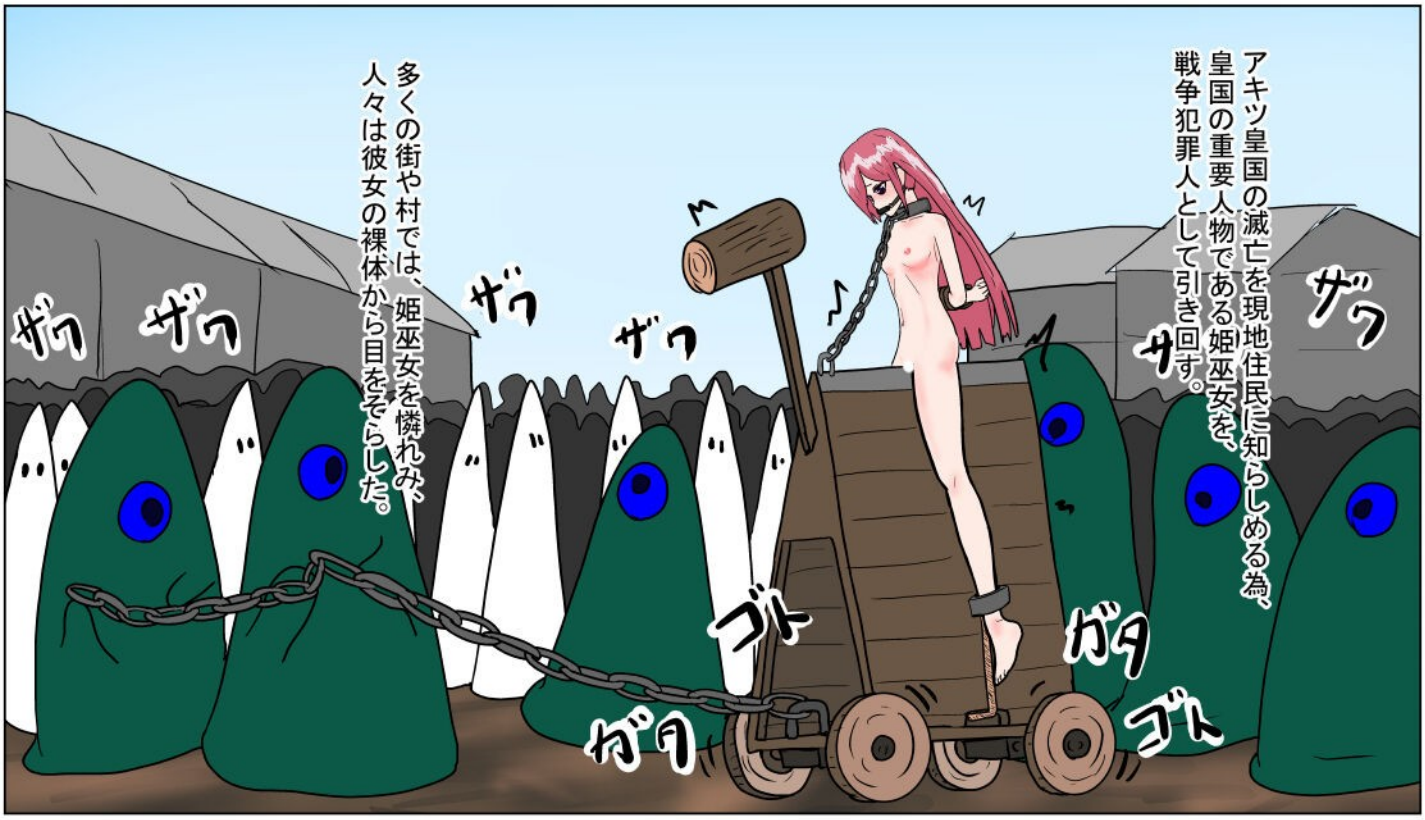

黄泉姫様、大変なことになってるね！
この調子だと、明日は黄泉姫様お休みかなぁ？
あれ？
サクラちゃん？
ちょっと刺激が強すぎた？
大丈夫だよ、サクラちゃんがこんなことされたりはしないから。
・・・・・・・
おーい、サクラちゃん？
聞いてる？

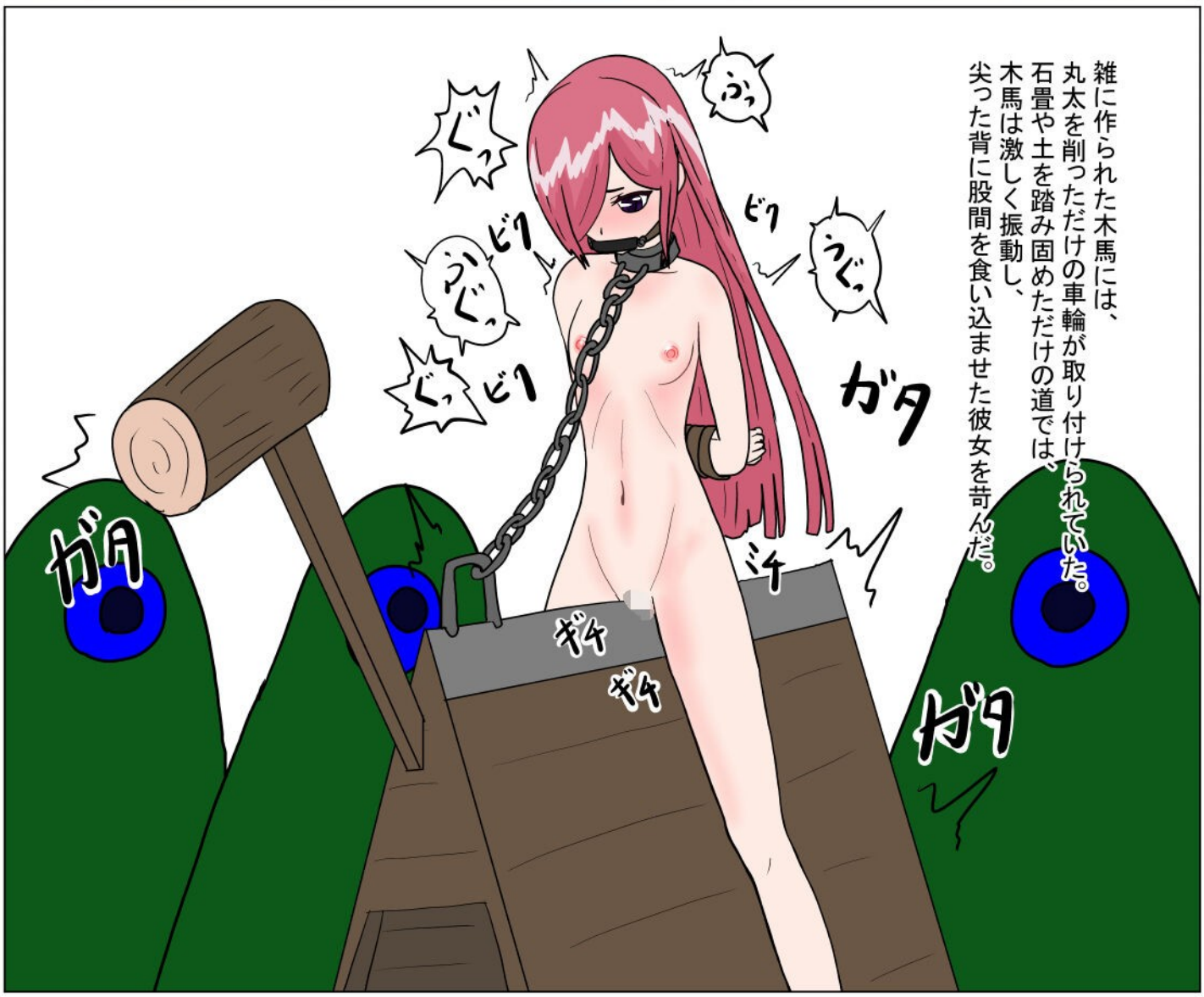

それからしばらくして・・・
その格好、すごくエロイね。
魔王様が気に入ってくれるといいけど。
魔王様は絶対喜ぶと思うなぁ。
ゴゴゴゴゴゴ
魔王様！
サクラちゃん来ましたよー！
いいよ、入っておいで。

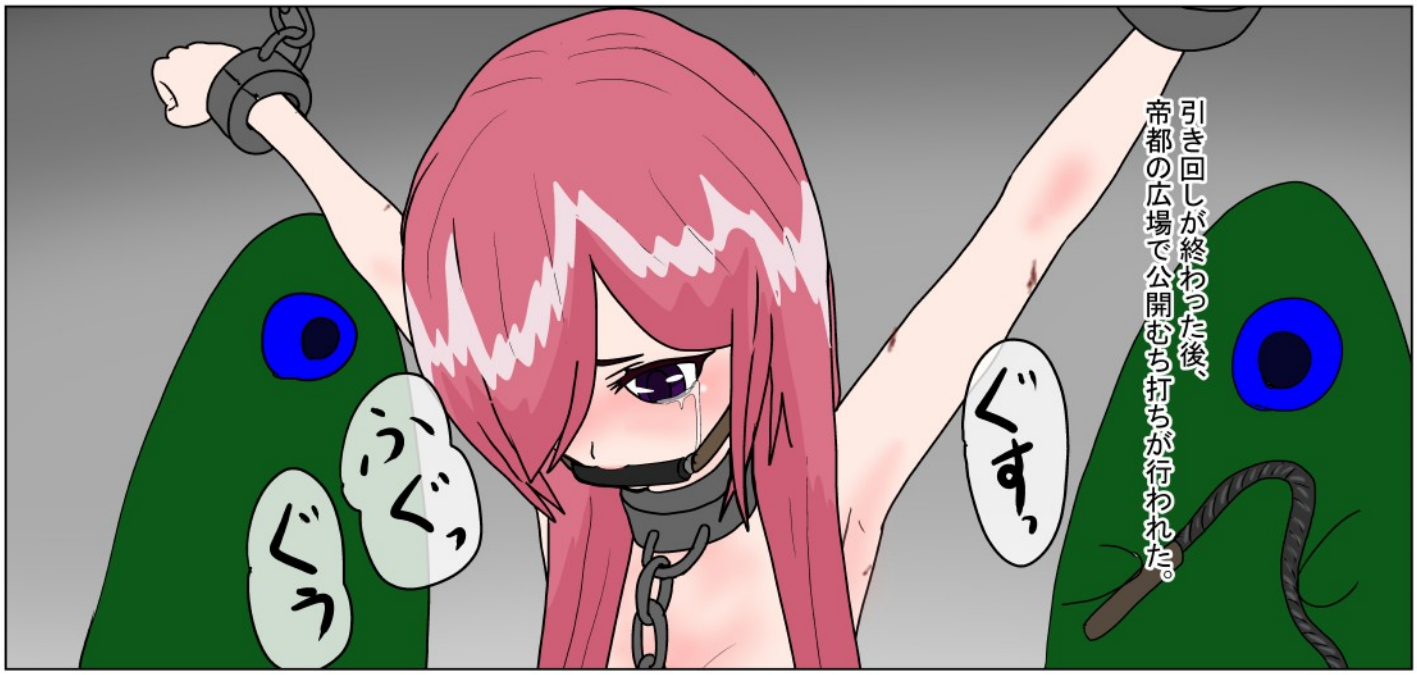

サ、サクラちゃん…
その格好は…！
えへへ…
黄泉様に用意して頂きました。
わ、私の…
私のことも…
いっぱいイヂメてください…♡
終…
もしかしたら続く…

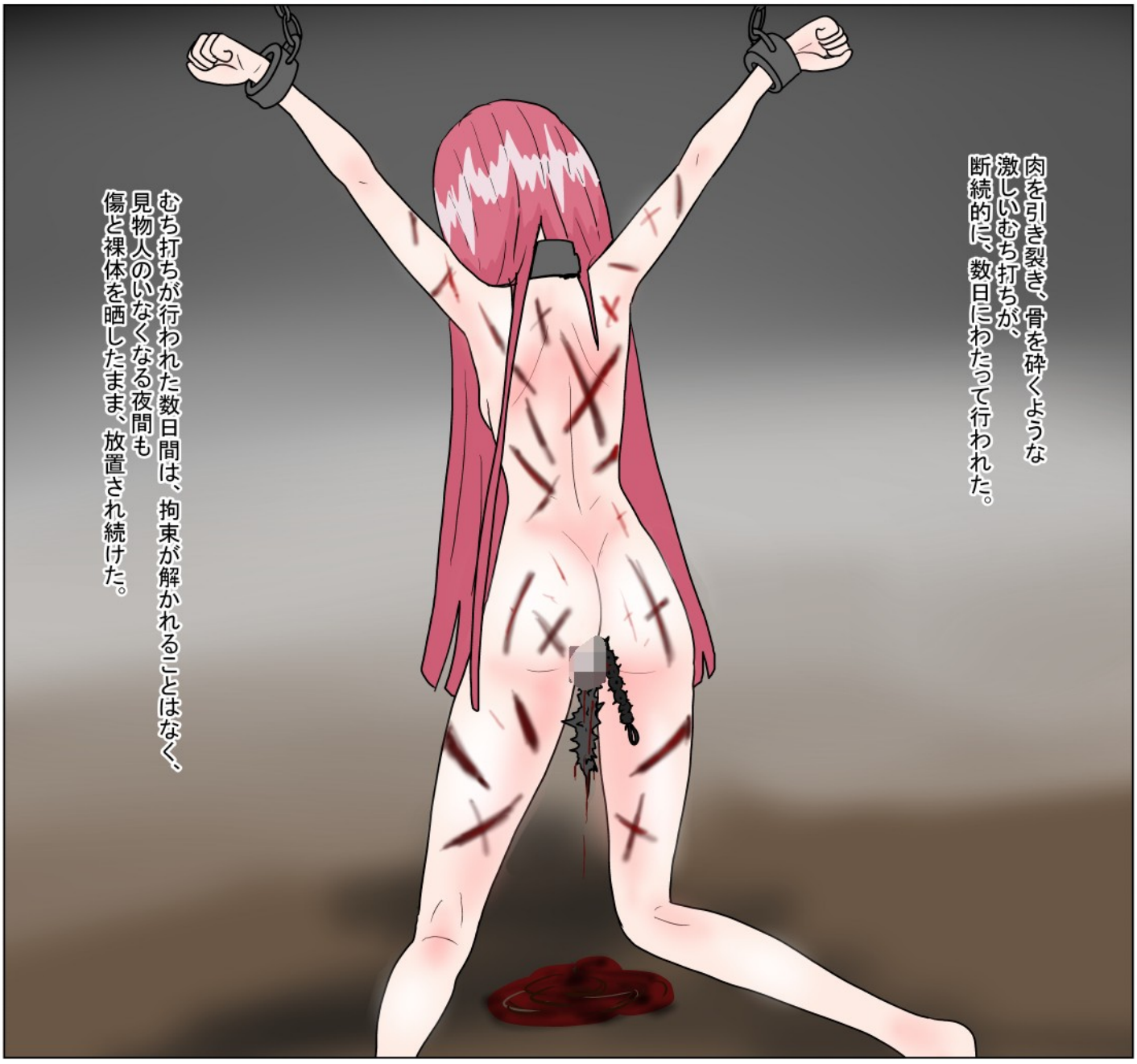

注意
ここから先はおまけ漫画です。
過剰で過激な暴力的表現を含みます。
本編とは異なるストーリー展開、
キャラ描写となります。
特に純愛過激派の諸兄におかれましては、
脳を破壊する恐れがありますので
閲覧しないことをお勧めします。
キャッ
キャッ
キャッ
やばい！
ど、どうしよ…

魔導帝国の侵攻によって、アキツ皇国は滅亡した。
皇国の重要人物として捕縛された姫巫女・サクラは、
魔族たちによる苛烈な凌辱を受けることになる…

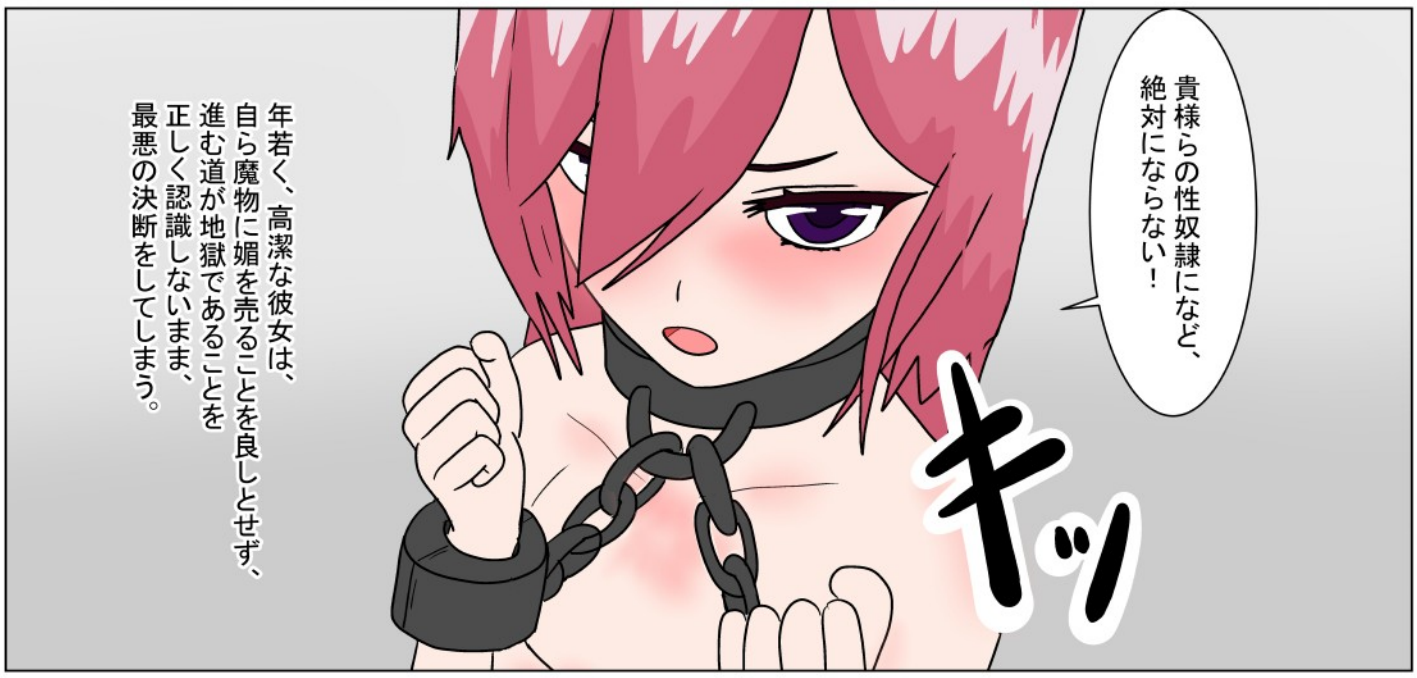

アキツ皇国の滅亡を現地住民に知らしめる為、
皇国の重要人物である姫巫女を、
戦争犯罪人として引き回す。
多くの街や村では、姫巫女を憐れみ、
人々は彼女の裸体から目をそらした。
ザワ
ザワ
ザワ
ザワ
ザワ
ゴト
ガタ
ガタ
ゴト


雑に作られた木馬には、
丸太を削っただけの車輪が取り付けられていた。
石畳や土を踏み固めただけの道では、
木馬は激しく振動し、
尖った背に股間を食い込ませた彼女を苛んだ。
ビク
ビク
ビク
ビク
ガタ
ガタ
ガタ
ギチ
ギチ


引き回しが終わった後、
帝都の広場で公開むち打ちが行われた。
ぐすっ
うぐっ
ぐう


肉を引き裂き、骨を砕くような
激しいむち打ちが、
断続的に、数日にわたって行われた。
むち打ちが行われた数日間は、拘束が解かれることはなく、
見物人のいなくなる夜間も
傷と裸体を晒したまま、放置され続けた。


魔導帝国へと連れ去られた彼女は、
自ら性奴隷となり魔物達に奉仕するか、
強制的に性玩具へと作り変えられるかの
2択を突き付けられる。
ｷｬﾘ。
ﾁｬﾗ


貴様らの性奴隷になど、
絶対にならない！
キッ
年若く、高潔な彼女は、
自ら魔物に媚を売ることを良しとせず、
進む道が地獄であることを
正しく認識しないまま、
最悪の決断をしてしまう。


がはっ!?
はっ!?
かはっ
はぁっ
あっ
ひぎっ
ギーひいっ
やめ…!!
やめてぇ…!!
あかあ!?
ガリ
ガリ
ガリ
ガリ
ガリ
ガリ

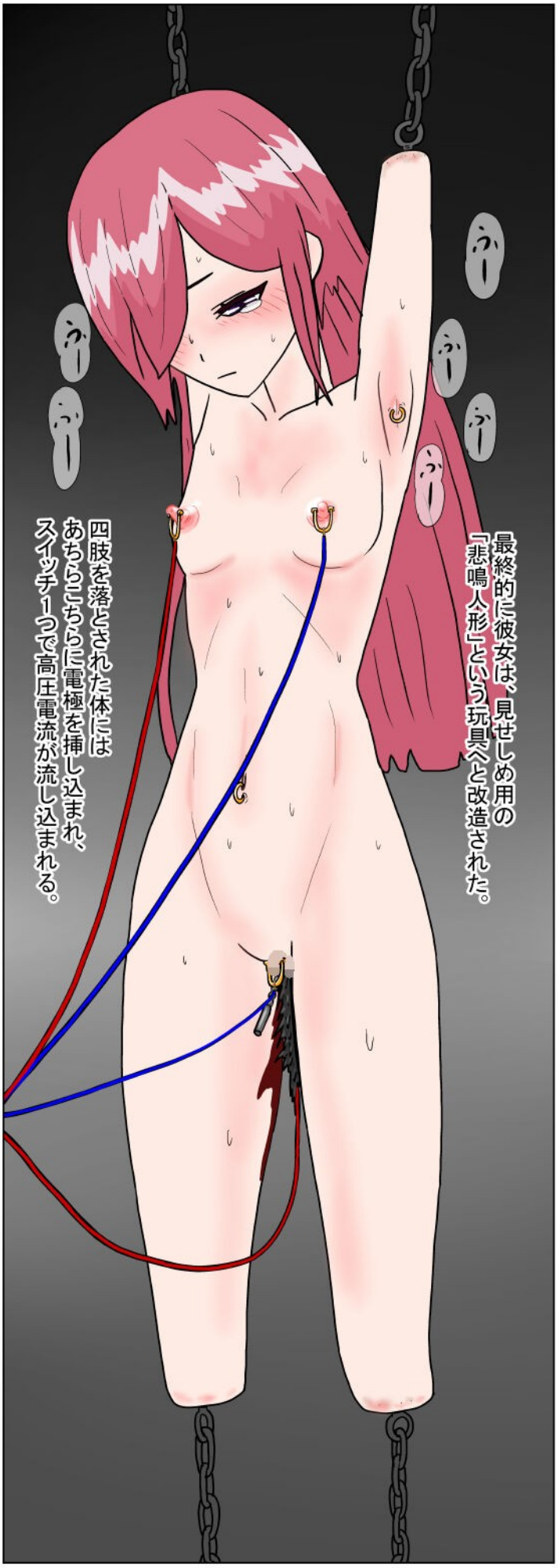

雁字搦めに拘束され、
様々な触手。様々な道具で
敏感な部位を嬲られる。
いあ!!
ブン
ブン
やえへぇ!!
やえへぇ!!
ひぎっ
いっ?!
いぎぃぃぃぃぃ
ゴリ
ゴリ
ガリ
ガン
ガリ
ガリガリ


あーあ
あーあ
あーあああああ
体中を徹底的な暴行と凌辱が襲う。
高潔な精神も、圧倒的な暴力の前に、
じわじわと削り取られ、消耗していく…
ブル
ブル
ブル


精神の弱り切った彼女を、
さらなるさらなる凌辱が襲う。
大量の媚薬や細胞活性を促す薬剤が、
乳首やクリトリスに注入されていく。
いっ
ふっ
ブスリ
ぎぃぃぃぃ!!
ふっ
ハロ…
ふっ
あっ…
あっ…
あぁぁぁぁぁぁ



彼女への「改造」はさらに激しさを増す。
腕は肘の関節で、足は膝の関節部分から切り取られ、
文字通り手も足も出ない、
抵抗不可能な状態で嬲られ続けた。


最終的に彼女は、見せしめ用の
「悲鳴人形」という玩具へと改造された。
四肢を落とされた体には
あちらこちらに電極を挿し込まれ、
スイッチ1つで高圧電流が流し込まれる。


あが!?
ビクッ
ビクッ
ガクッ
ガクッ
ガク
ビビビ
ビビビ
ビビビ
ガクッ
魔物たちは気まぐれに彼女の体に
電流を流し、弄ぶ。


がが
がが
がが
がが
がが
ガク
ガク
彼女が「保管」された地下室では、
同じような運命をたどった
玩具たちの悲鳴が、いつまでも響き続けた。


玩具として飽きられた彼女は、
さらに手足を短く削られ、
地下室の奥深くに放り込まれた。
もはや彼女が高位の巫女だったことを
覚えている者はいない。
彼女はこの場で、
稀にやってくる魔物たちに
気まぐれに暴力を振るわれながら、
その短い余生を送るのだろう・・・
BAD END・・・